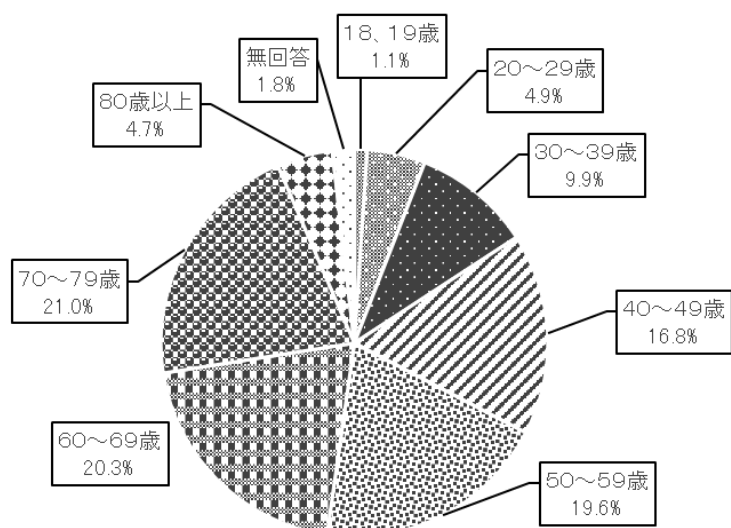


令和7年度県政世論調査結果（速報値）概要について

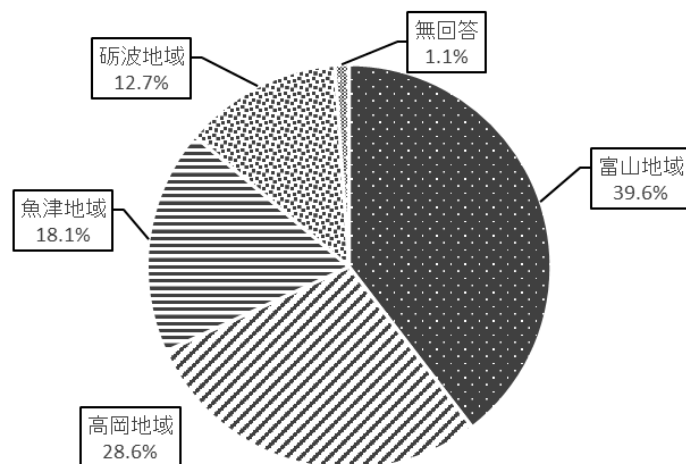
<調査の概要>

- | | |
|----------|---|
| 1 調査対象 | 県内に居住する満18歳以上の男女4,000人 |
| 2 調査期間 | 令和7年8月8日～9月16日 |
| 3 調査方法 | 郵送調査 |
| 4 回収数(率) | 2,143人(53.6%) (10月1日時点)
※うちWEB回収 528人(全回収数の24.6%)
<R6年度:1,912人(47.8%)
※うちWEB回収527人(全体回収の27.6%) |

5 年代・地域別 (世代別)



(地域別)



6 調査項目

- (1) 県政全般（政策の満足度・不満度、県政への要望）
- (2) 個別施策

ブランディング戦略、ウェルビーイング、^⑨農業用水路転落事故、地産地消、^⑩新しい認知症観、福祉施策の充実、カーボンニュートラル、^⑪サーキュラーエコノミー、地域交通、^⑫交通安全活動、犯罪の予防、リカレント教育の取組み、^⑬教育の充実

- (3) 意識調査
 - 郷土への愛着等に関する設問
 - 県民参考指標に関する設問

1 県政全般について

<政策の満足度について>

県の政策について、「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」から1つ選択

○満足度の高い項目（上位10項目）

- ・例年同様、『北陸新幹線の整備促進』、『水資源の保全と活用』が上位となっている。
- ・前回26位だった『富山のブランドカアップ』は今年度、4位となっている。

順位	項目		%	前回R6 (参考)
1	北陸新幹線の整備促進	交流・物流	40.2	43.6 (1位)
2	水資源の保全と活用	環境	25.5	24.9 (2位)
3	食の安全確保と地産地消・食育の推進	健康・福祉	25.0	24.3 (3位)
4	新幹線駅を核とした交流拠点づくり	交流・物流	24.1	23.6 (4位)
4	富山のブランドカアップ	まちづくり・観光	24.1	14.6 (26位)
6	利便性の高い道路ネットワークの整備	交流・物流	23.3	22.8 (6位)
7	医療提供体制の充実	健康・福祉	20.5	23.2 (5位)
8	選ばれ続ける観光地づくり	まちづくり・観光	20.4	14.2 (28位)
9	子育て支援	子育て・教育	20.1	20.4 (7位)
10	スポーツの振興	県民活動	19.8	17.2 (17位)

※『満足している』と『どちらかといえば満足している』を合わせた数値を指標としている。

○不満度の高い項目（上位10項目）

- ・前回同様、『景気対策（物価高騰対策などを含む）』『中心市街地の賑わいの創出』『雪に強いまちづくり』が上位となっている。
- ・前回16位だった『農業生産の振興』は今年度、6位となっている。

順位	項目		%	前回R6 (参考)
1	景気対策（物価高騰対策などを含む）	産業	54.8	48.1 (1位)
2	中心市街地の賑わいの創出	まちづくり・観光	44.8	44.1 (2位)
3	雪に強いまちづくり	安全・安心	43.6	42.3 (3位)
4	雇用の確保と人材の育成	産業	42.7	39.5 (4位)
5	商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり	産業	41.7	39.2 (5位)
6	農業生産の振興	産業	38.8	31.8 (16位)
7	快適で活力ある魅力的なまちづくりの推進	まちづくり・観光	37.6	38.8 (6位)
8	生活交通の確保	安全・安心	35.6	32.4 (14位)
9	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	子育て・教育	35.2	36.4 (10位)
10	農山漁村の活性化	地域づくり	34.6	33.3 (12位)

※『不満である』と『どちらかといえば不満である』を合わせた数値を指標としている。

< 県政への要望について >

県の政策のうち、もっと力を入れてほしいと思う政策を5つ以内で選択

○要望の高い項目（上位10項目）

- ・例年同様、景気対策、雪対策、子育て支援、高齢福祉、医療体制の関連項目が上位を占めている。
- ・前回16位だった、『雇用の確保と人材の育成』の割合が増加し、14.9%となっている。
（前回より7ポイント増）

順位	項目		%	前回R6 (参考)
1	景気対策（物価高騰対策などを含む）	産 業	24.0	32.5（1位）
2	雪に強いまちづくり	安全・安心	22.6	18.3（3位）
3	雇用の確保と人材の育成	産 業	14.9	7.9（16位）
4	子育て支援	子育て・教育	14.4	21.0（2位）
5	高齢者福祉の充実	健康・福祉	13.9	13.0（6位）
6	医療提供体制の充実	健康・福祉	13.6	13.2（5位）
7	防災・危機管理体制の充実	安全・安心	12.3	12.2（8位）
8	地震防災対策の充実	安全・安心	10.9	15.7（4位）
9	出会いから結婚、妊娠、出産までの切れ目のない支援	子育て・教育	10.5	12.3（7位）
9	生活交通の確保	安全・安心	10.5	10.5（10位）

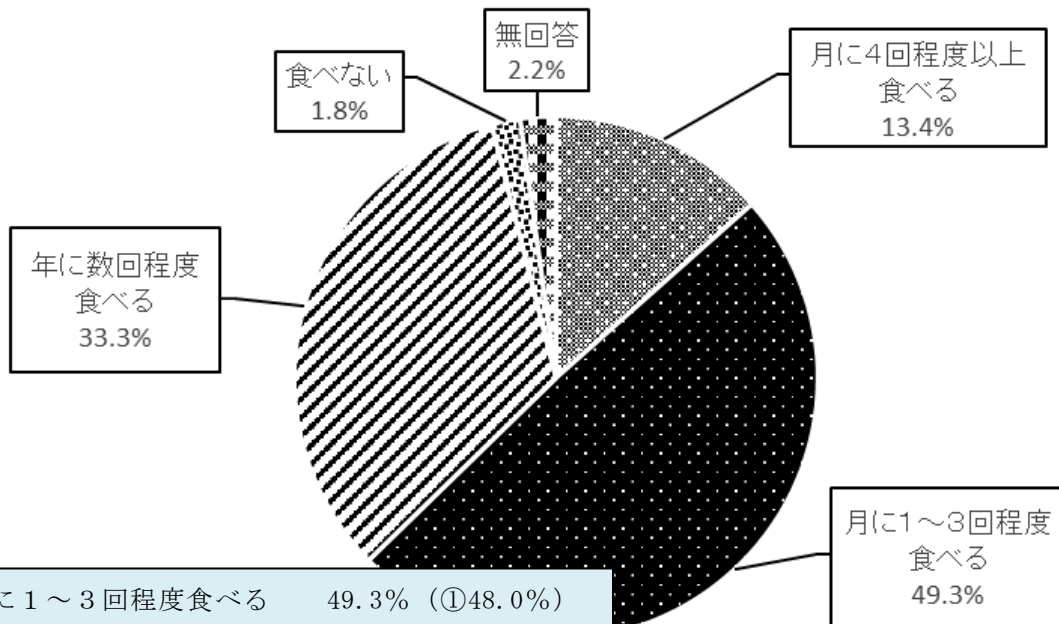
【参考】過去調査結果（上位5項目）

順位	要望調査（%）				
	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1	雪に強いまちづくり 29.0	雪に強いまちづくり 29.3	景気対策（物価対策などを含む） 32.1	景気対策（物価対策などを含む） 32.5	景気対策（物価対策などを含む） 24.0
2	景気対策 16.1	景気対策（物価対策などを含む） 27.0	雪に強いまちづくり 26.8	子育て支援 21.0	雪に強いまちづくり 22.6
3	医療提供体制の充実 13.7	子育て支援 19.1	高齢者福祉の充実 17.8	雪に強いまちづくり 18.3	雇用の確保と人材の育成 14.9
4	高齢者福祉の充実 13.4	医療提供体制の充実 15.4	子育て支援 17.0	地震防災対策の充実 15.7	子育て支援 14.4
5	子育て支援 12.8	高齢者福祉の充実 14.9	医療提供体制の充実 15.1	医療提供体制の充実 13.2	高齢者福祉の充実 13.9

2 ブランディング戦略について

(1) 「寿司」をどの程度食べているかについて（単一回答）

・『月に1～3回程度食べる』が、49.3%と最も多くなっている。

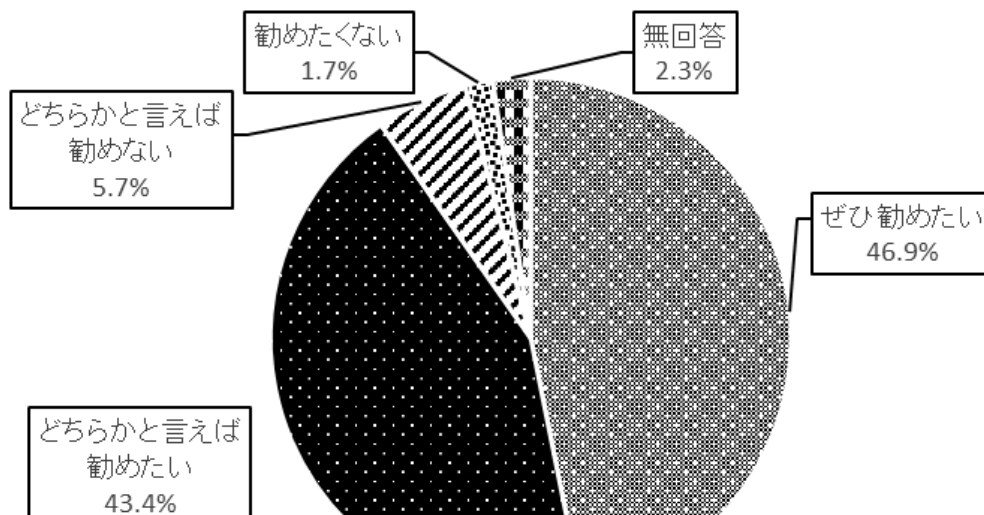


1 月に1～3回程度食べる	49.3%	(①48.0%)
2 年に数回程度食べる	33.3%	(②36.1%)
3 月に4回程度以上食べる	13.4%	(③12.1%)
4 食べない	1.8%	(④ 1.8%)

※ () 内は前回調査 (R6) の結果
(○内数値は順位)

(2) 県内の「寿司」を県外の知人・友人等に積極的に勧めたいかについて（単一回答）

・『ぜひ勧めたい』(46.9%)と『どちらかと言えば勧めたい』(43.4%)を合わせて、90.3%となっており、昨年と同率であるが、『ぜひ勧めたい』は昨年より増加している。



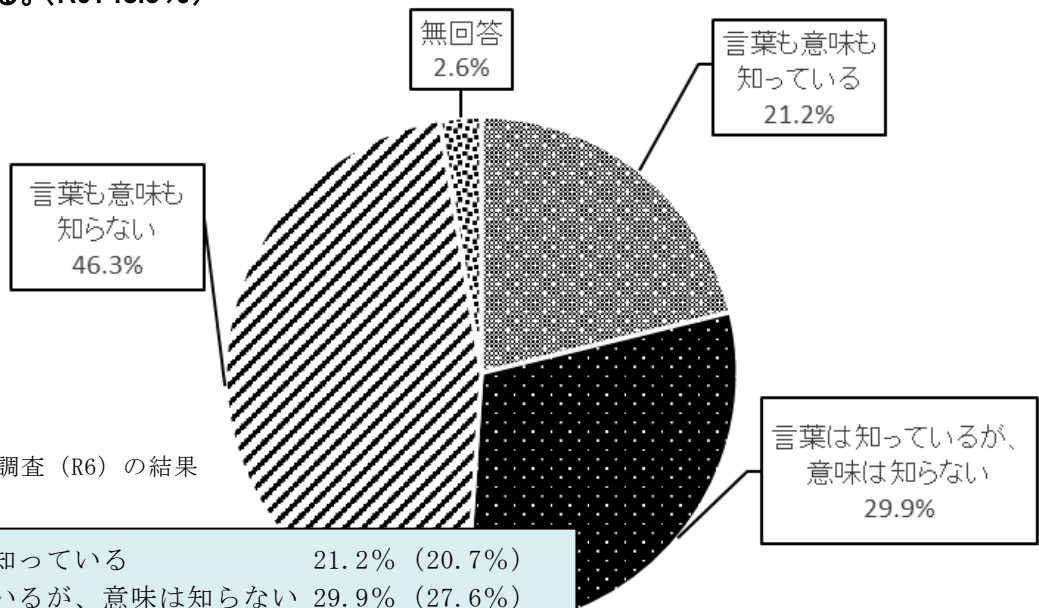
1 ぜひ勧めたい	46.9%	(①45.8%)
2 どちらかと言えば勧めたい	43.4%	(②44.5%)
3 どちらかと言えば勧めない	5.7%	(③ 6.4%)
4 勧めたくない	1.7%	(④ 1.3%)

※ () 内は前回調査 (R6) の結果
(○内数値は順位)

3 ウェルビーイングについて

(1) 「ウェルビーイング」の認知度について（単一回答）

- ・『言葉も意味も知っている』が21.2%と前回(R6)調査より増加している。(R6:20.7%)
- ・『言葉も意味も知っている』と『言葉は知っているが意味は知らない』を合わせて、51.1%と前回調査より増加している。(R6:48.3%)



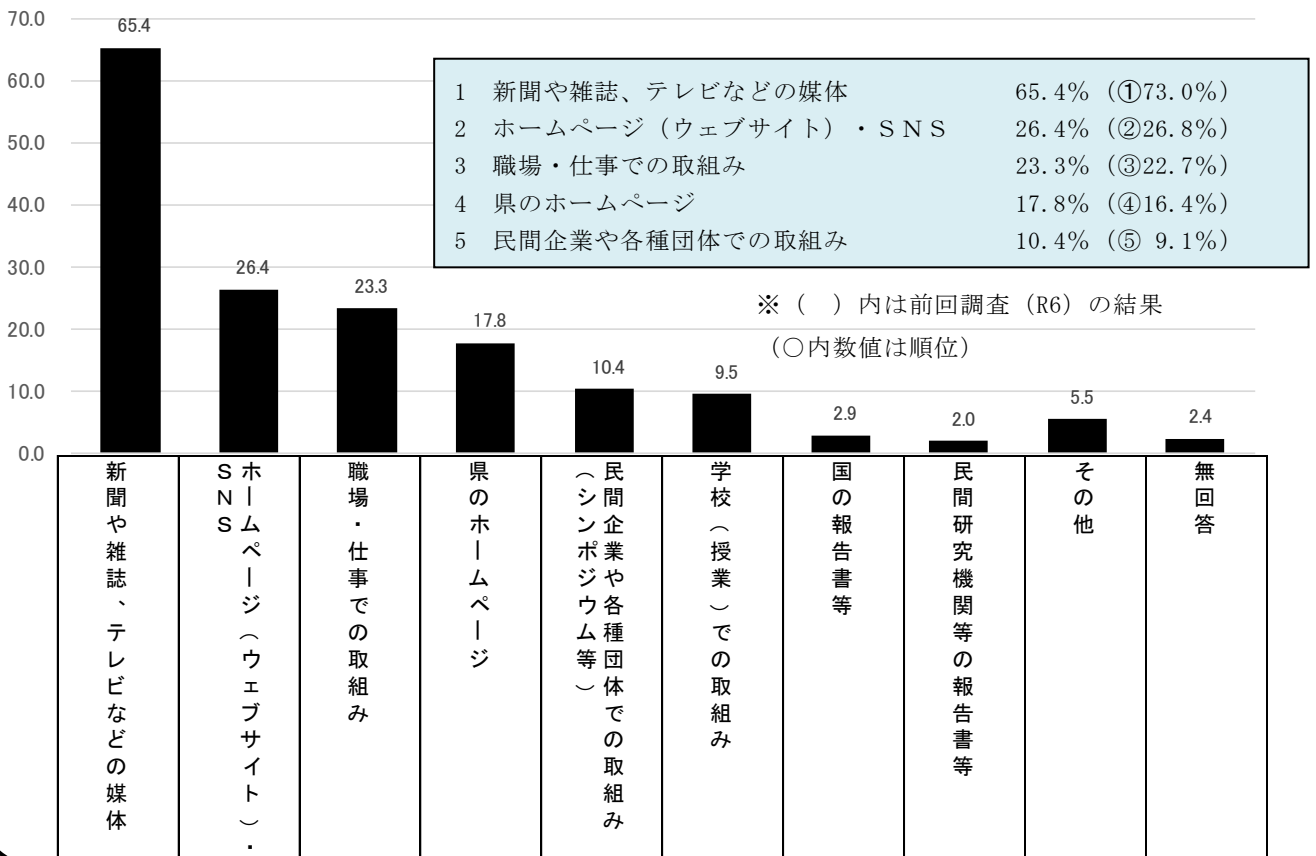
※ () 内は前回調査 (R6) の結果

・言葉も意味も知っている	21.2%	(20.7%)
・言葉は知っているが、意味は知らない	29.9%	(27.6%)
小計	51.1%	(48.3%)
・言葉も意味も知らない	46.3%	(50.2%)
・無回答	2.6%	(1.5%)

(2) 「ウェルビーイングを知った主なきっかけ」について

(複数回答：3つ以内) ※対象者：(1)で「言葉も意味も知っている」と回答した者

- ・『新聞や雑誌、テレビなどの媒体』が65.4%と最も多くなっている。



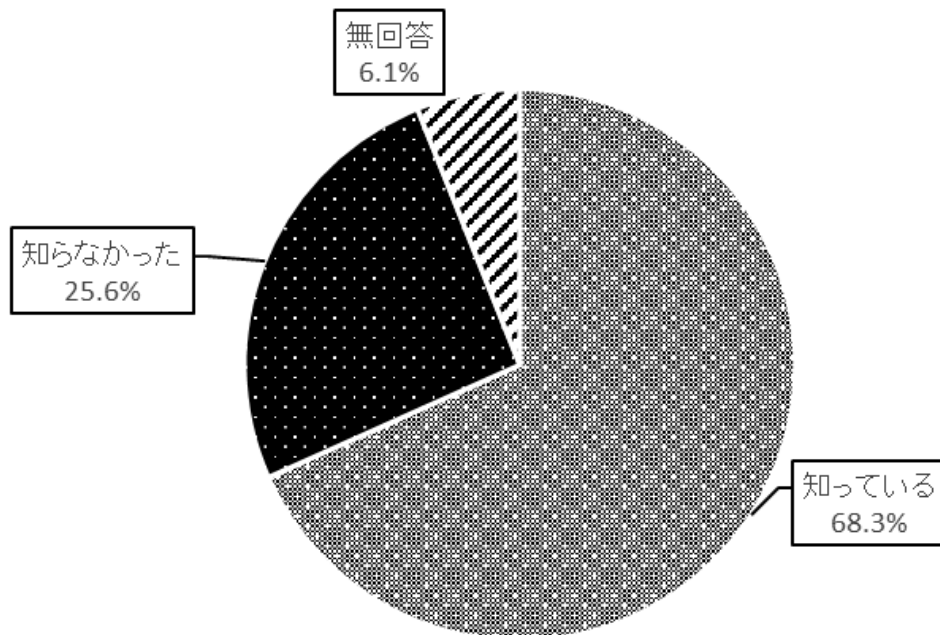
※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(○内数値は順位)

4 ④ 農業用水路転落事故について

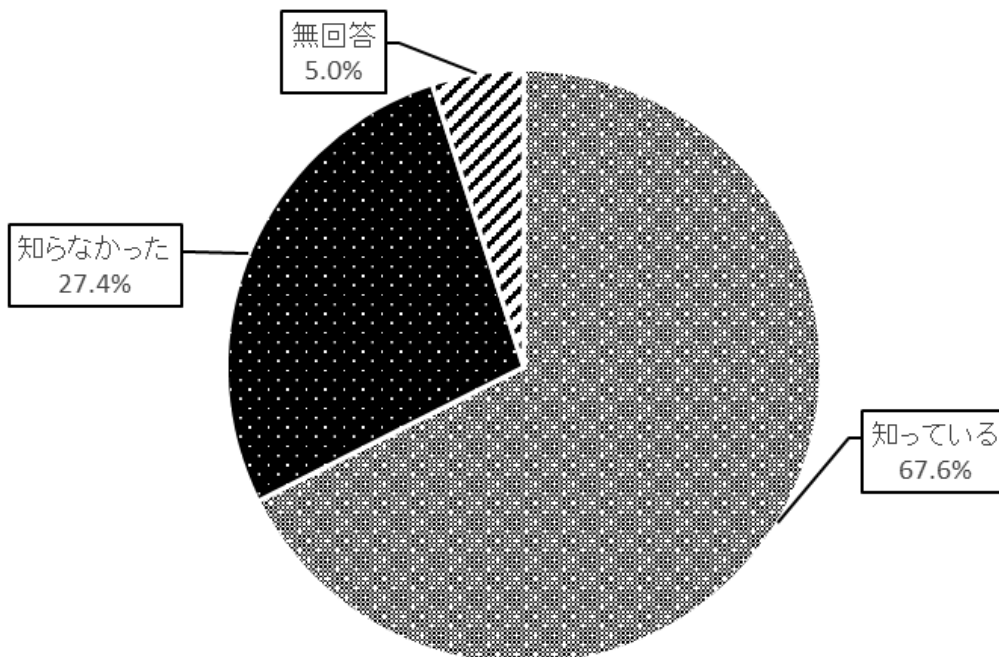
(1) 転落に遭う9割以上が65歳以上と知っているかについて(単一回答)

・『知っている』が、68.3%と最も多くなっている。



(2) 転落死亡事故は身近で小規模な水路での発生が全体の半分以上であることを知っているかについて(単一回答)

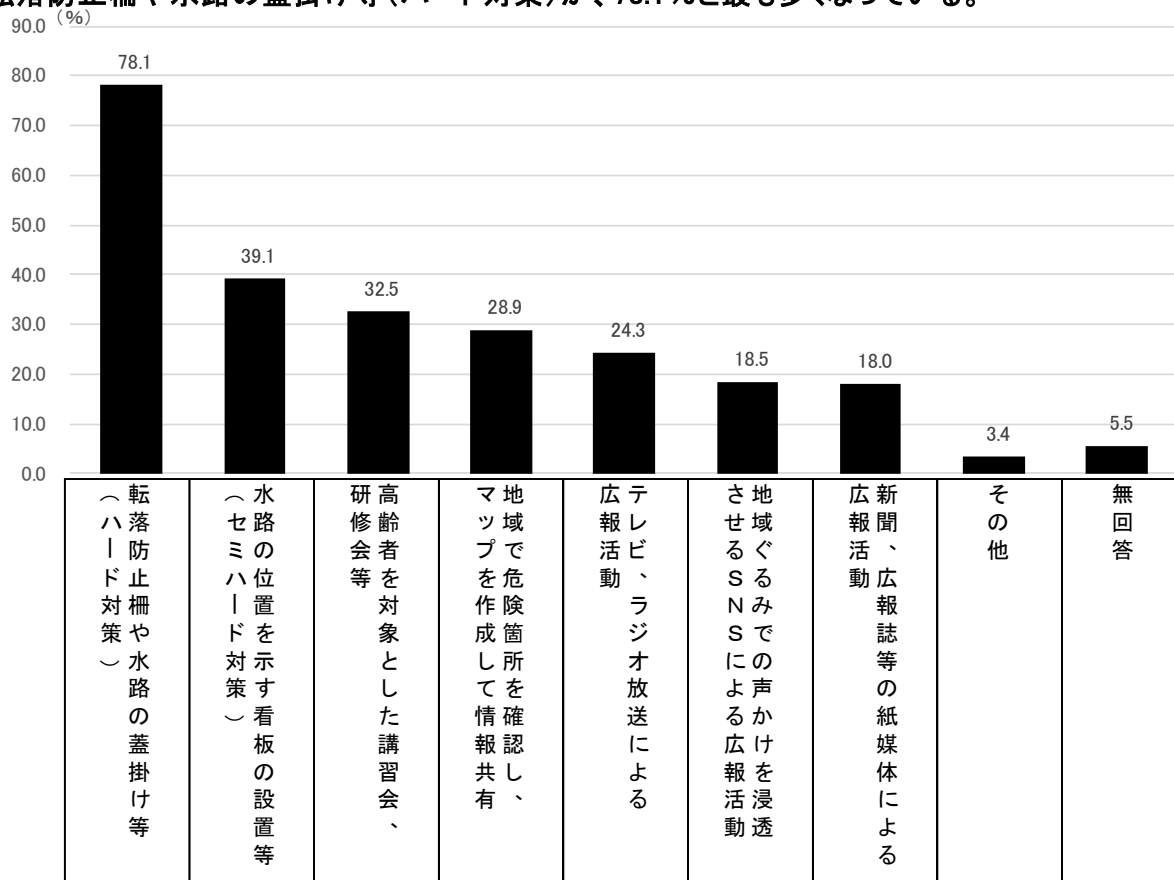
・『知っている』が67.6%と最も多くなっている。



(3) 転落防止事故を未然防止するためにはどのような取組みが効果的かについて

(複数回答：すべて)

・『転落防止柵や水路の蓋掛け等(ハード対策)が、78.1%と最も多くなっている。

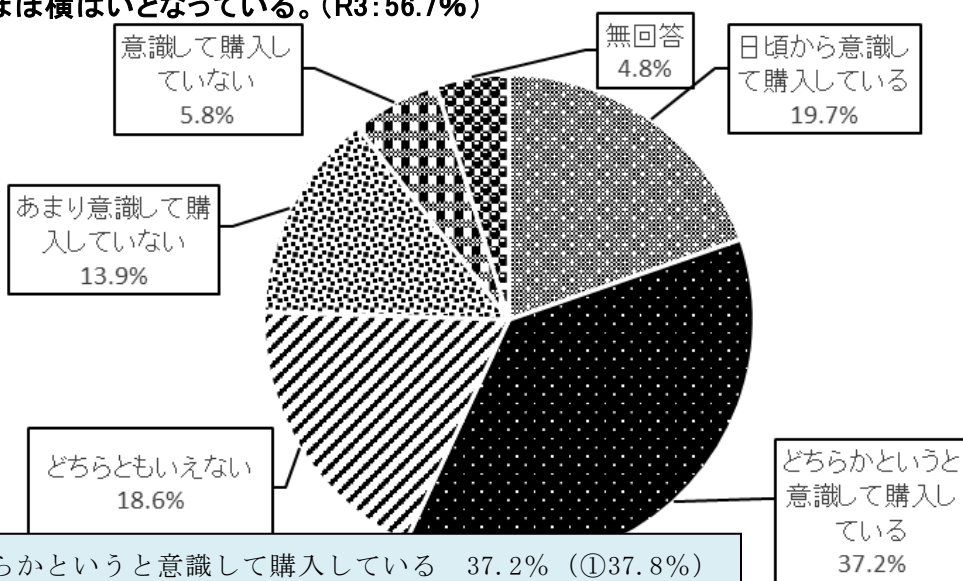


5 地産地消について

(1) 富山県内産の農林水産物を意識して購入するよう心がけているかについて

(単一回答)

・『日頃から意識して購入している』と『どちらかという意識して購入している』を合わせて、56.9%と前回調査とほぼ横ばいとなっている。(R3:56.7%)



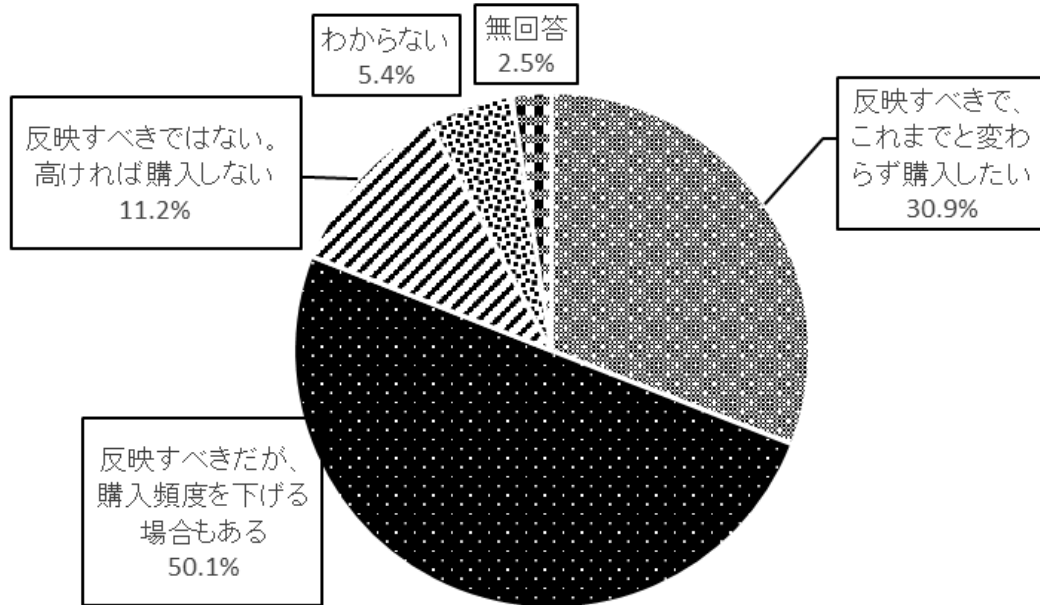
1	どちらかという意識して購入している	37.2% (①37.8%)
2	日頃から意識して購入している	19.7% (③18.9%)
3	どちらともいえない	18.6% (②19.3%)
4	あまり意識して購入していない	13.9% (④15.1%)
5	意識して購入していない	5.8% (⑤7.5%)

※ () 内は前回調査 (R3) の結果
(○内数値は順位)

(2) ⑥生産コストの上昇分を販売価格に反映されること及び県内産の農林水産物の購入頻度についてどう思うかについて（単一回答）

※対象者：(1)の「あまり意識して購入していない」、「意識して購入していない」以外を回答した者

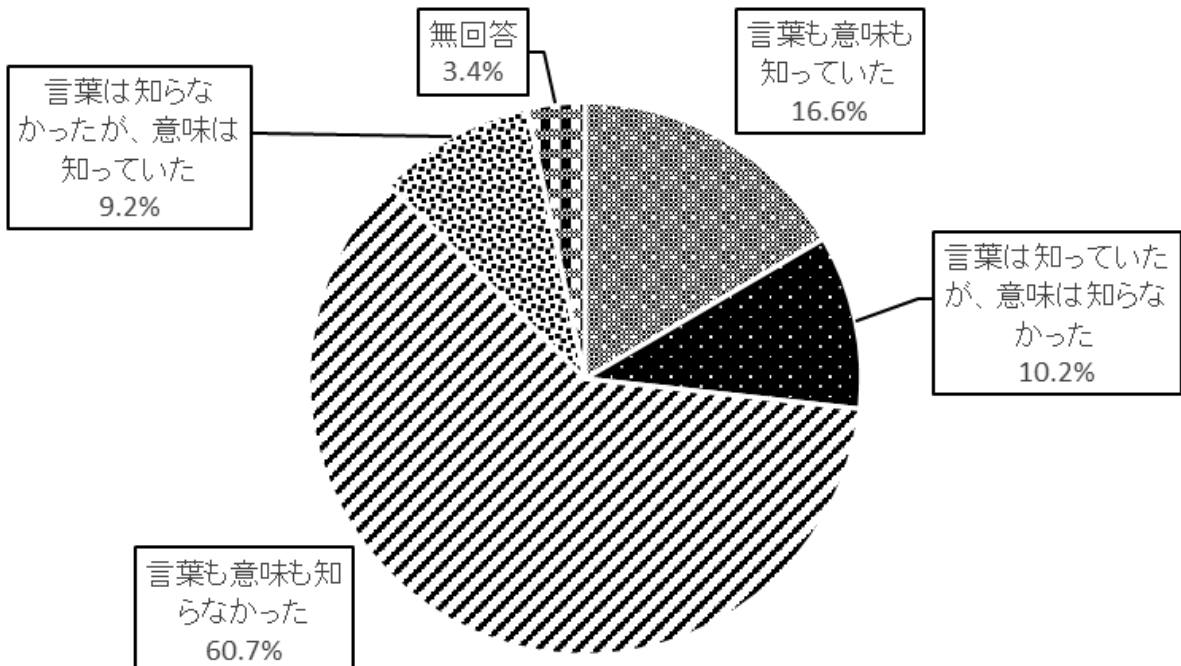
・『反映すべきだが、購入頻度を下げる場合もある』が50.1%と半数の方が回答している。



6 ⑦新しい認知症観について

(1) 「新しい認知症観」の認知度について（単一回答）

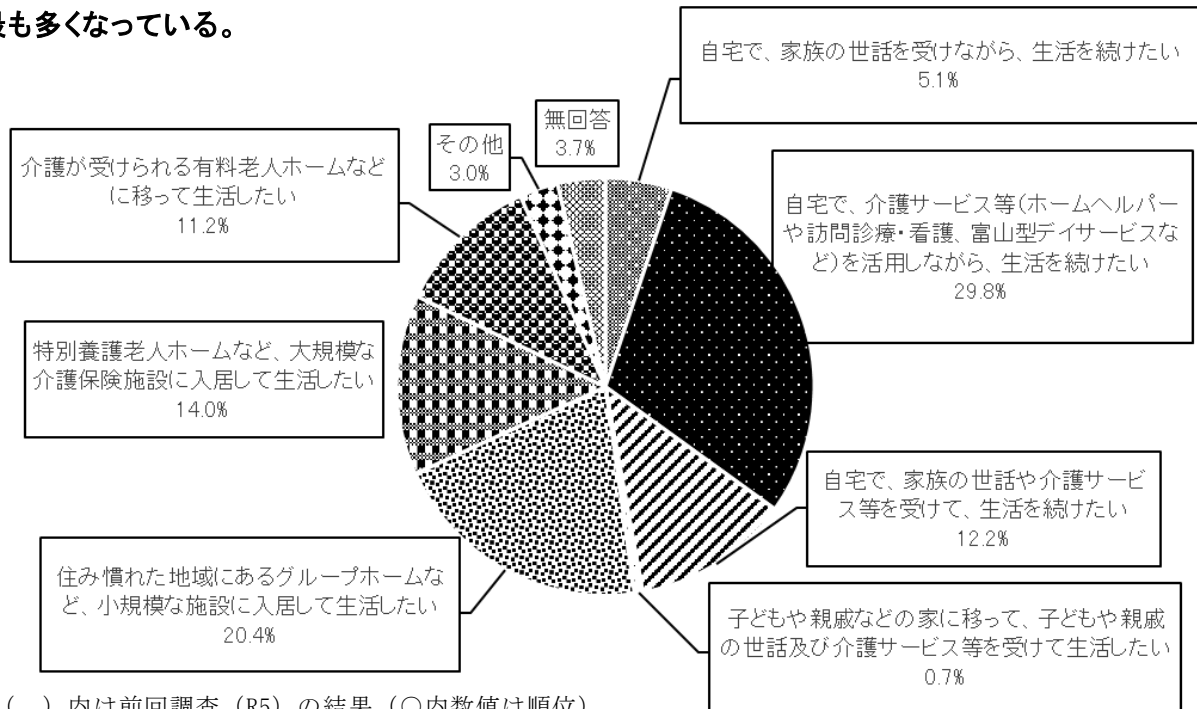
・『言葉も意味も知らなかった』が60.7%と半数以上の方が回答している。



「新しい認知症観」とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるという考え方です。

7 福祉施策の充実について

(1) 自身に介護が必要になった場合、どのような生活を望むかについて（単一回答）
・前回(R5)同様『自宅で介護サービス等を活用しながら、生活を続けたい』が29.8%と最も多くなっている。

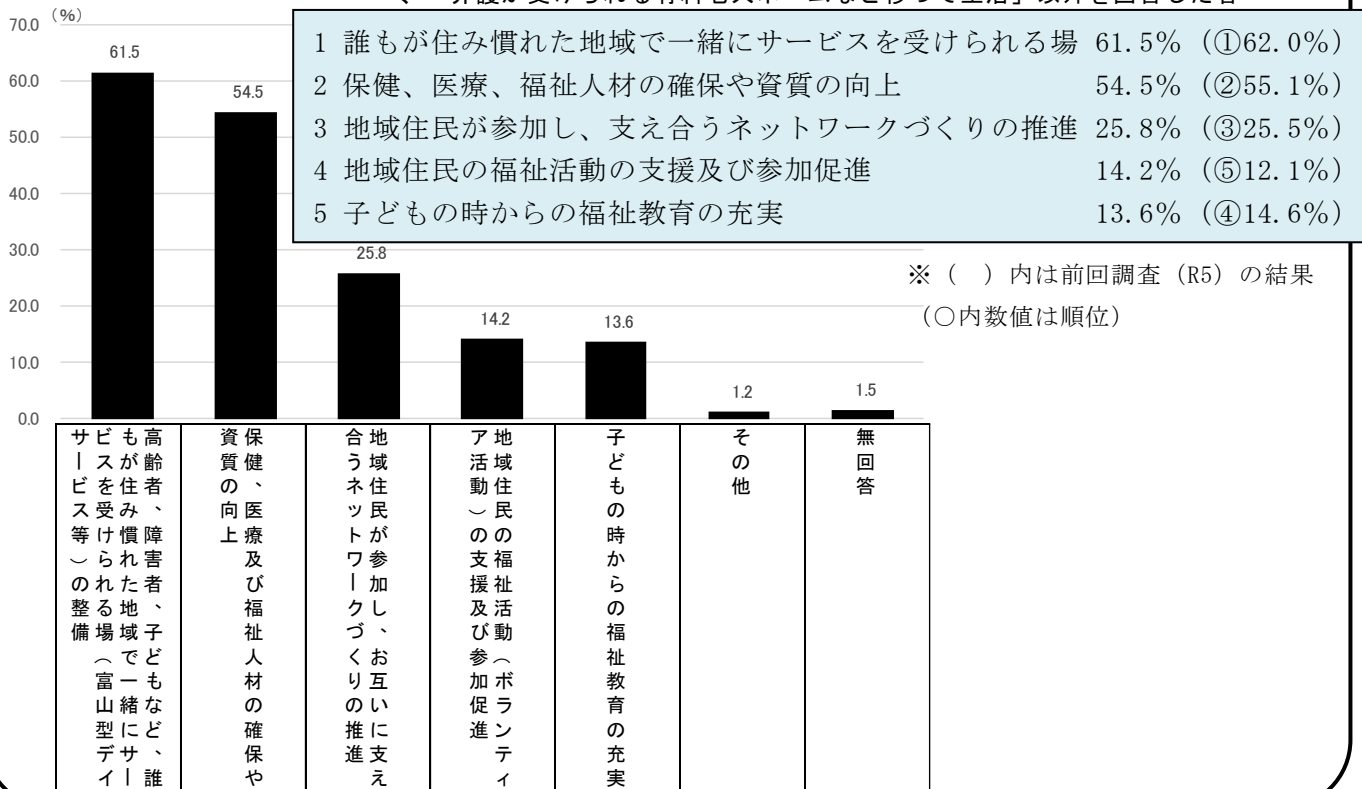


※ () 内は前回調査 (R5) の結果 (○内数値は順位)

1 自宅で、介護サービス等を活用し、生活	29.8%	(①30.2%)
2 住み慣れた地域にあるグループホームなど小規模な施設に入居して生活	20.4%	(②19.0%)
3 特別養護老人ホームなど大規模な介護保険施設に入居し、生活	14.0%	(④11.6%)
4 自宅で家族の世話、介護サービス等を受けて生活	12.2%	(③14.1%)
5 介護が受けられる有料老人ホームなどに移り、生活	11.2%	(⑤10.4%)

(2) 誰もが住み慣れた地域で安心して生活するため、取り組むべき課題について

(複数回答：2つ以内) ※対象者：(1)の「特別養護老人ホームなど、大規模な介護保険施設に入居して生活」、「介護が受けられる有料老人ホームなど移って生活」以外を回答した者

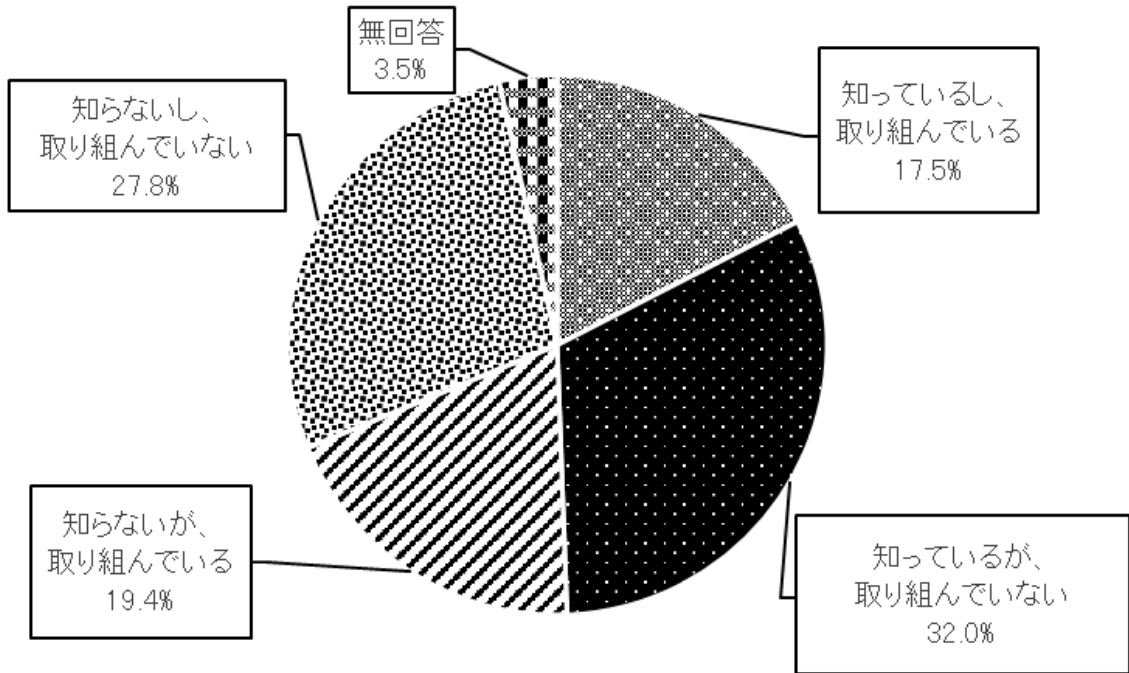


※ () 内は前回調査 (R5) の結果 (○内数値は順位)

8 カーボンニュートラルについて

(1) 家庭部門の排出量の削減が進んでいないことを知っていたか、また、家庭で排出量の削減に対する取組みについて（単一回答）

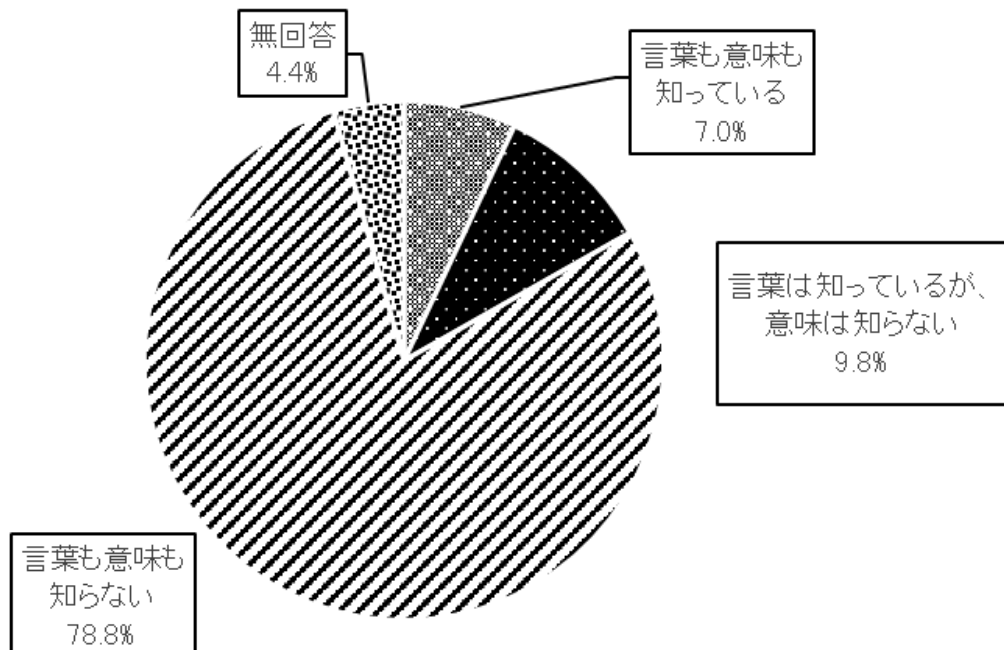
・『知っているが、取り組んでいない』が32.0%と最も多くなっている。



9 サークュラーエコノミーについて

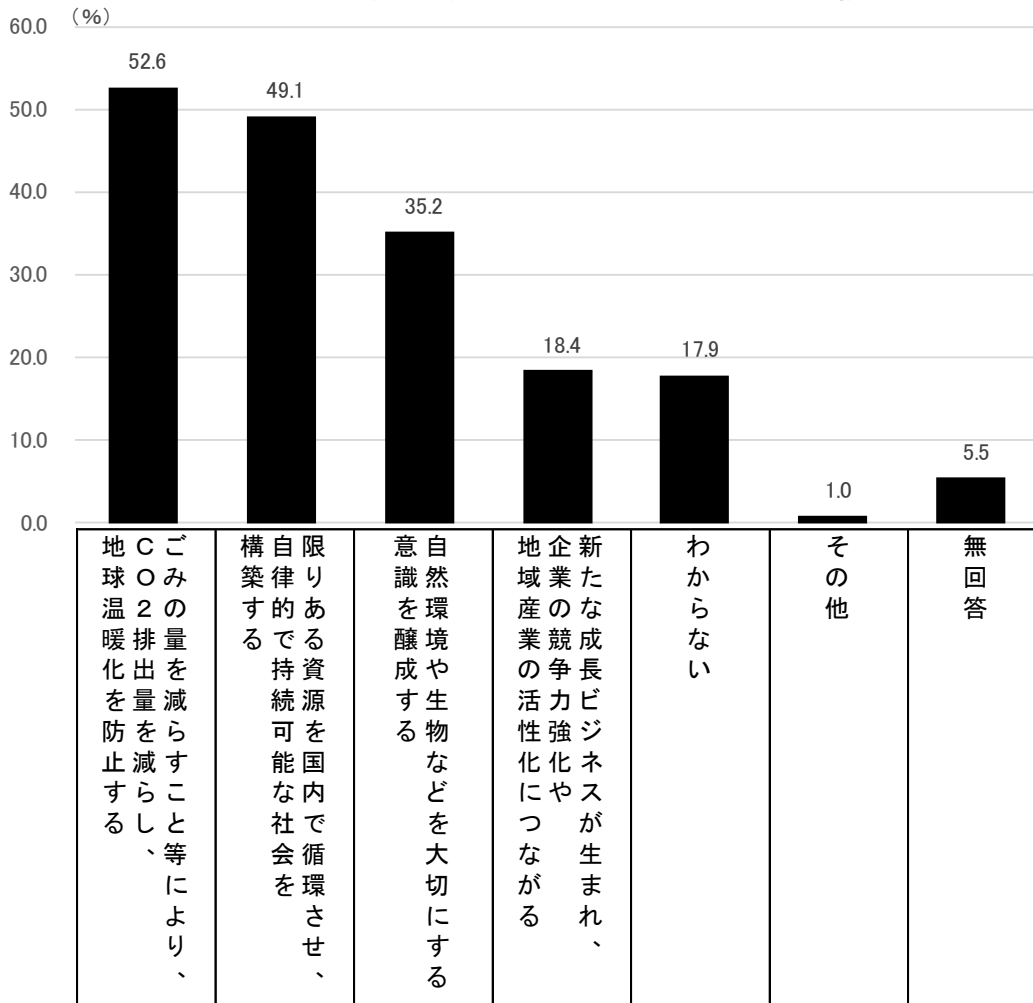
(1) 「サーキュラーエコノミー」の認知度について（単一回答）

・『言葉も意味も知っている』が7.0%にとどまっており、『言葉も意味も知らない』が78.8%となっている。



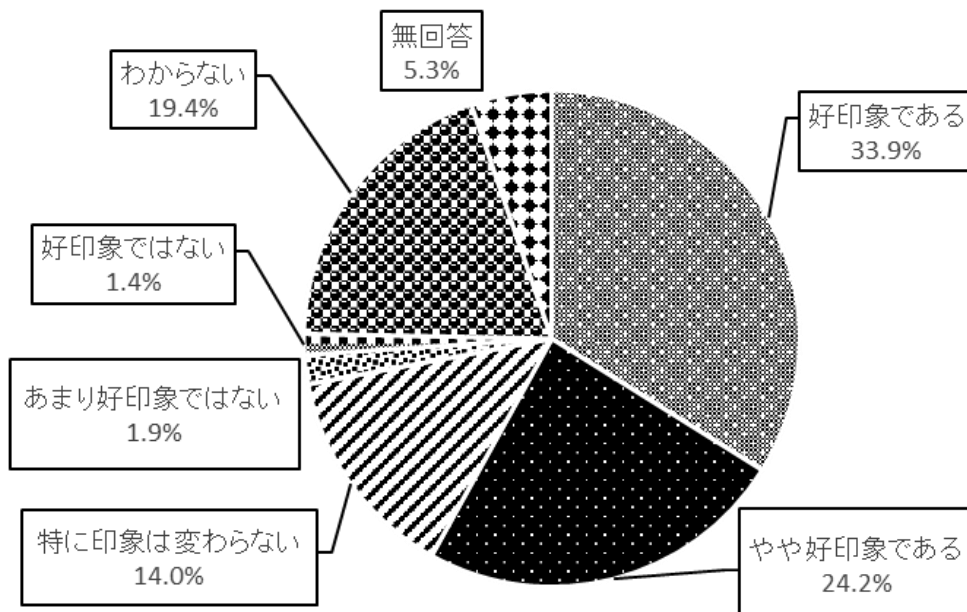
(2) 「サーキュラーエコノミー」を推進することで得られる効果のうち重要だと思うことについて（複数回答：すべて）

・『ごみの量を減らすこと等により、CO₂排出量を減らし、地球温暖化を防止する』が52.6%と最も多く、次いで『限りある資源を国内で循環させ、自立的で持続可能な社会を構築する』が49.1%となっている。



(3) 「サーキュラーエコノミー」の考え方を取り入れている企業にどのような印象を持つかについて（単一回答）

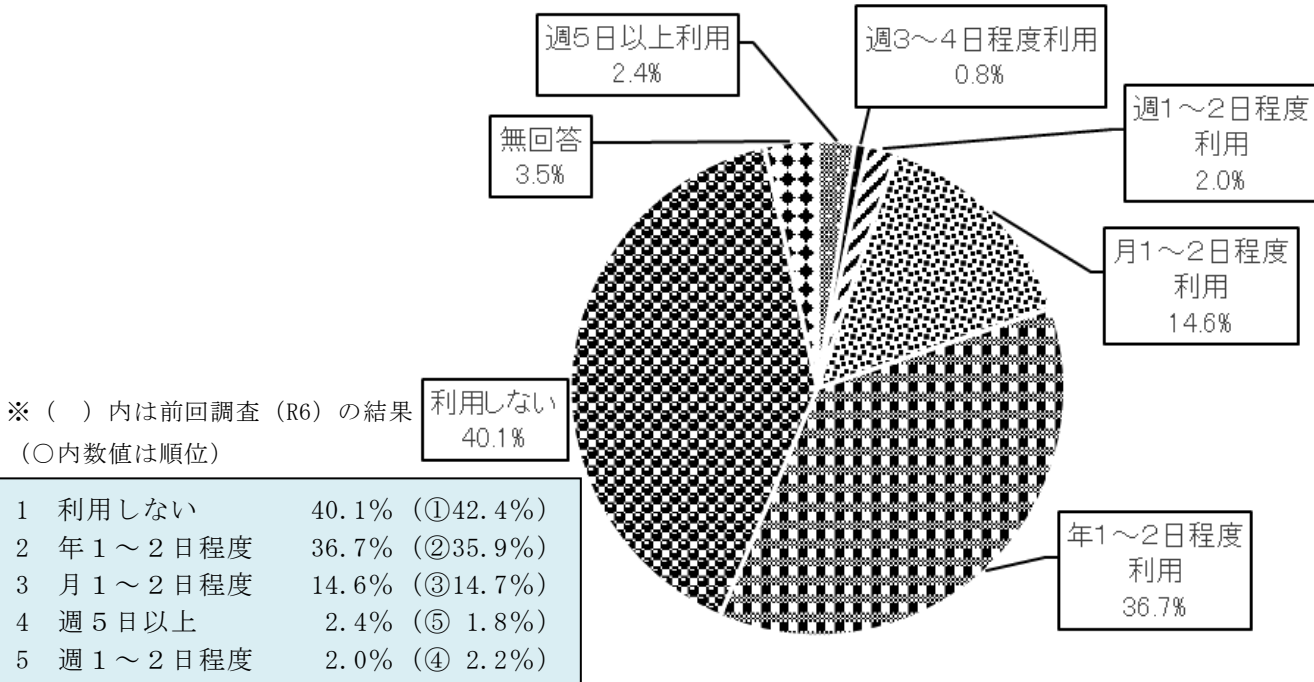
・『好印象である』と『やや好印象である』を合わせて、58.1%となっている。



10 地域交通について

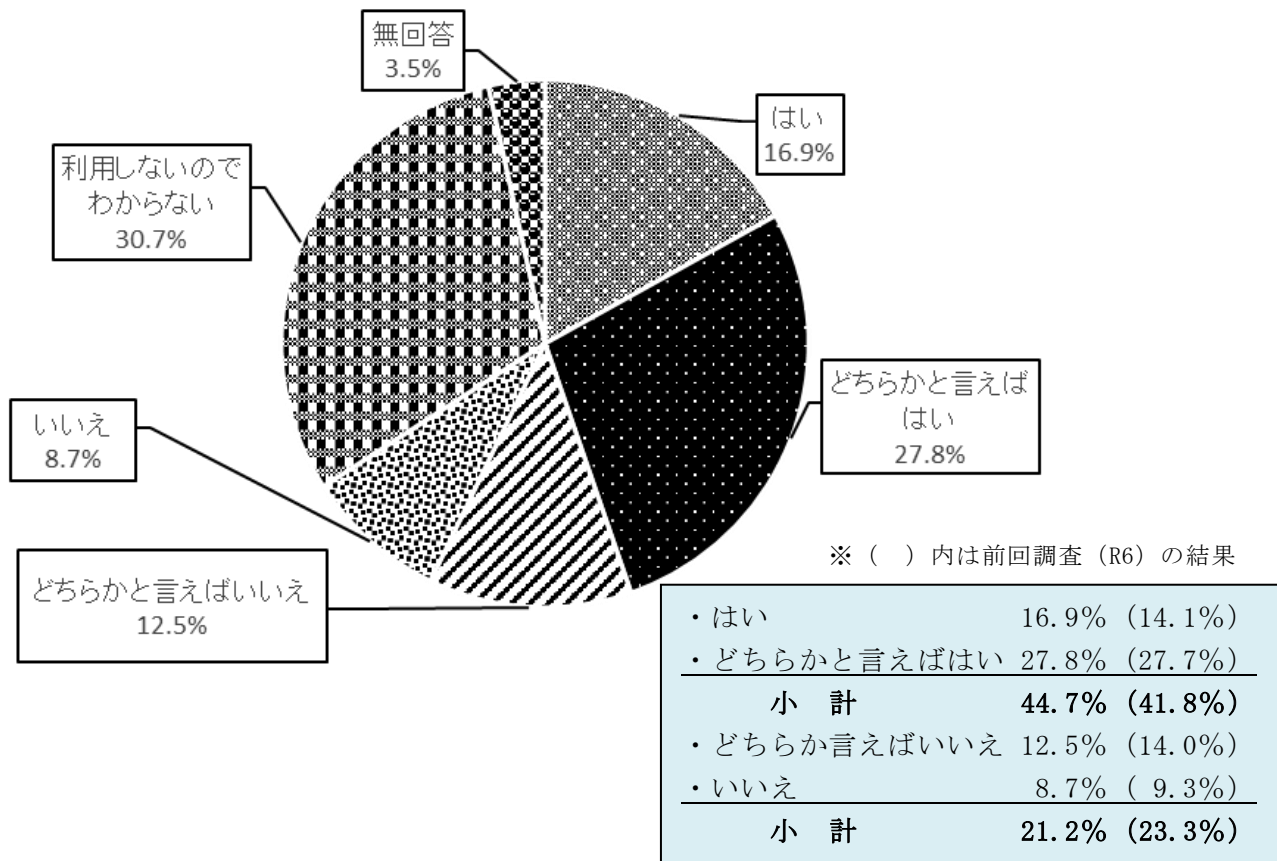
(1) 普段の生活で県内の鉄道、路面電車、バス、タクシーなどをどの程度利用するかについて（単一回答）

- ・『利用しない』が40.1%と最も多いが、その割合は昨年度に比べてやや減少している。



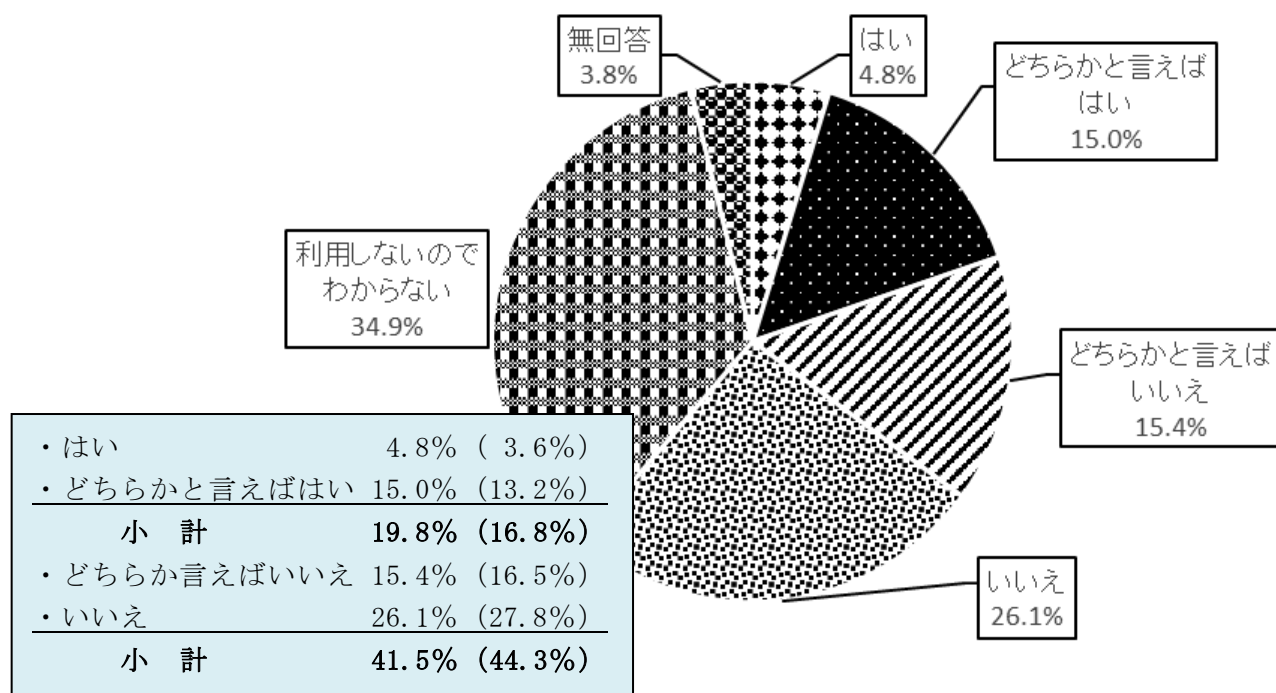
(2) 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、便利で使いやすい、安全快適に移動できると感じたことがあるかについて（単一回答）

- ・『はい』と『どちらかと言えばはい』を合わせて44.7%となっており、その割合は昨年度よりやや増加している。



(3) 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、自分の住む地域や人との関わり合いができた、暮らしの中で生きがいをもてたと感じたことがあるかについて
(単一回答)

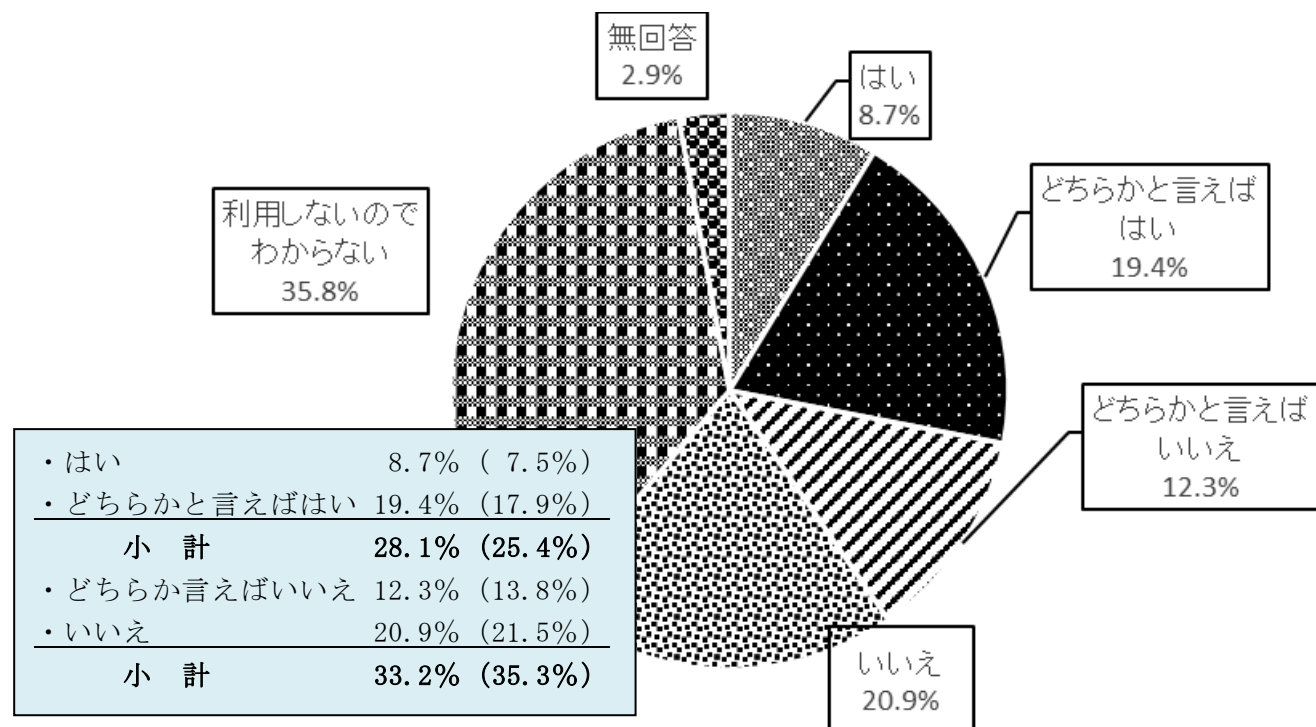
・『はい』と『どちらかと言えばはい』を合わせて19.8%となっており、その割合は昨年度よりやや増加している。



※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(4) 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどを利用して、お得にでかけることができた、健康や環境などにいいことができたと感じたことがあるかについて (単一回答)

・『はい』と『どちらかと言えばはい』を合わせて28.1%となっており、その割合は昨年度よりやや増加している。

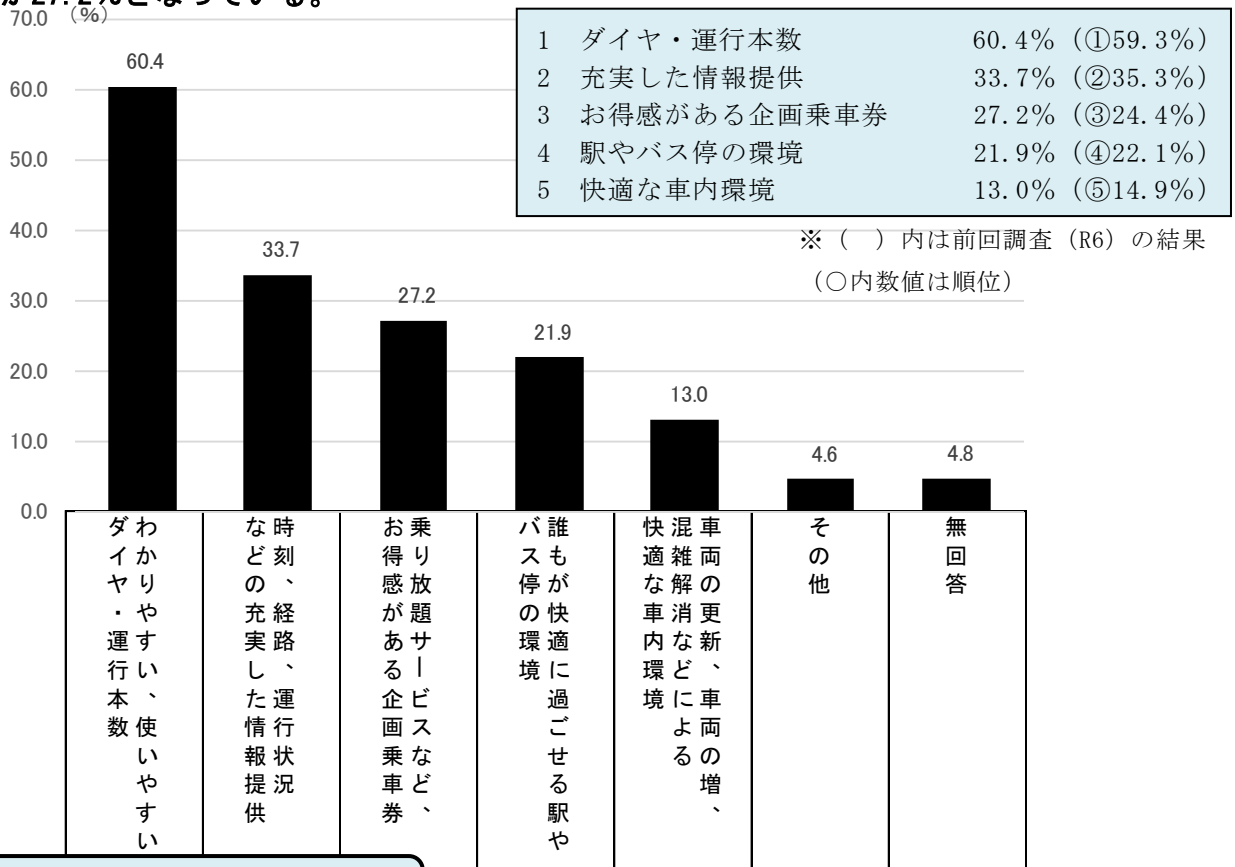


※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(5) 鉄道、路面電車、バス、タクシーなどの利用促進のために重視する点について

(複数回答：2つ以内)

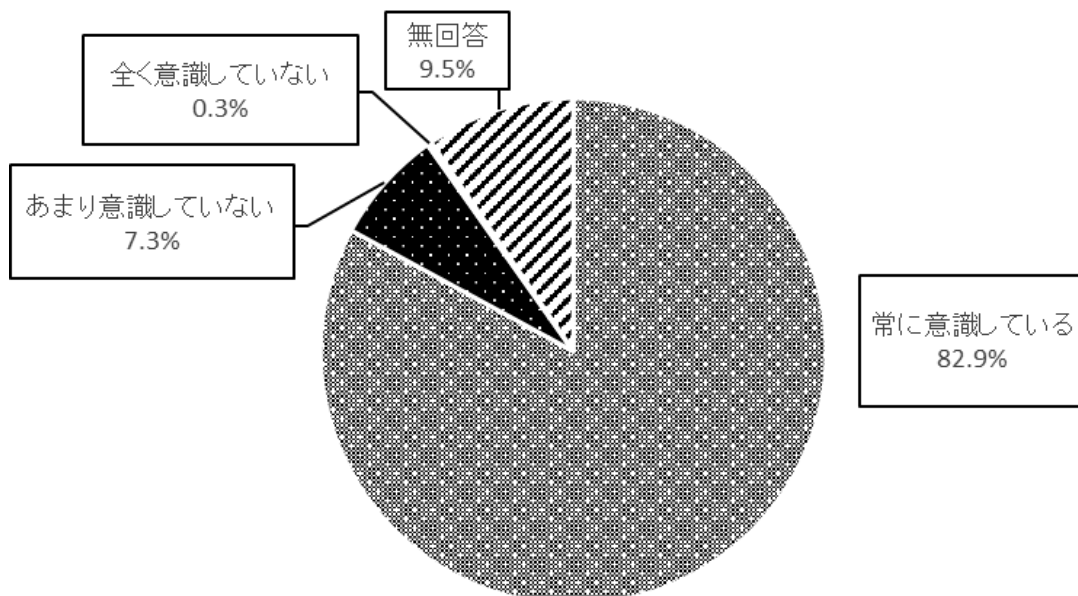
・『わかりやすい、使いやすいダイヤ・運行本数』が60.4%と最も多く、次いで『時刻、経路、運行状況などの充実した情報提供』が33.7%、『乗り放題サービスなど、お得感がある企画乗車券』が27.2%となっている。



11 交通安全活動について

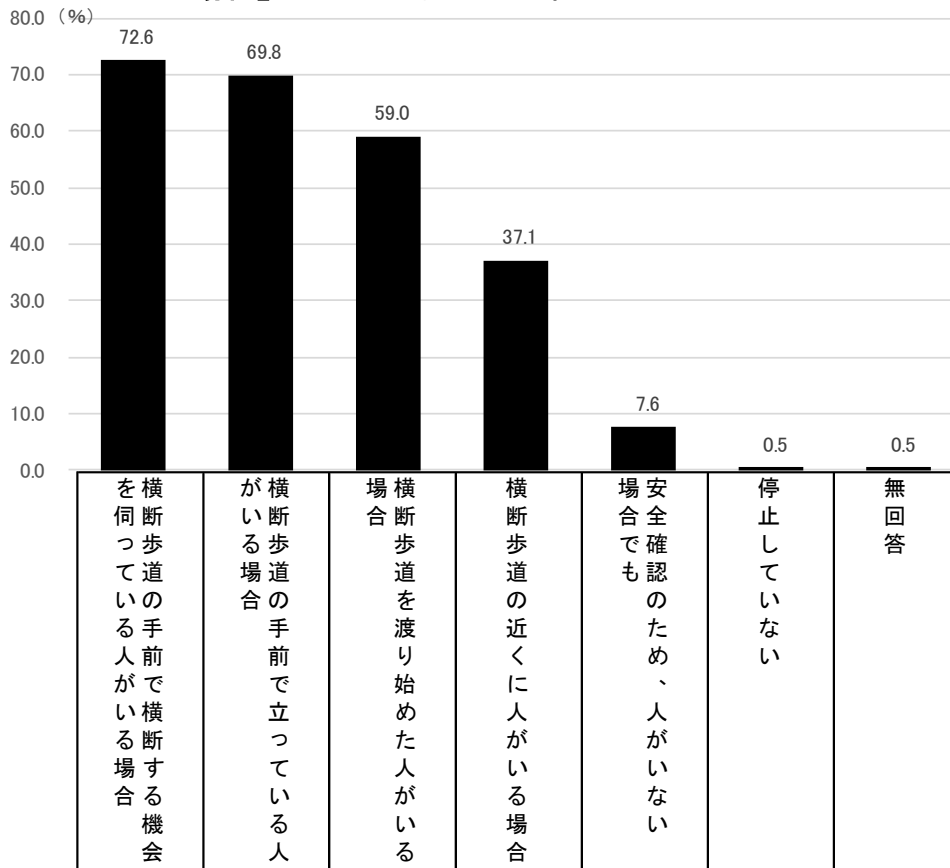
(1) 自動車等を運転中、信号機のない横断歩道で歩行者の有無を意識しているかについて (単一回答) ※対象者：自動車等を運転している者

・『常に意識している』が82.9%と最も多くなっている。



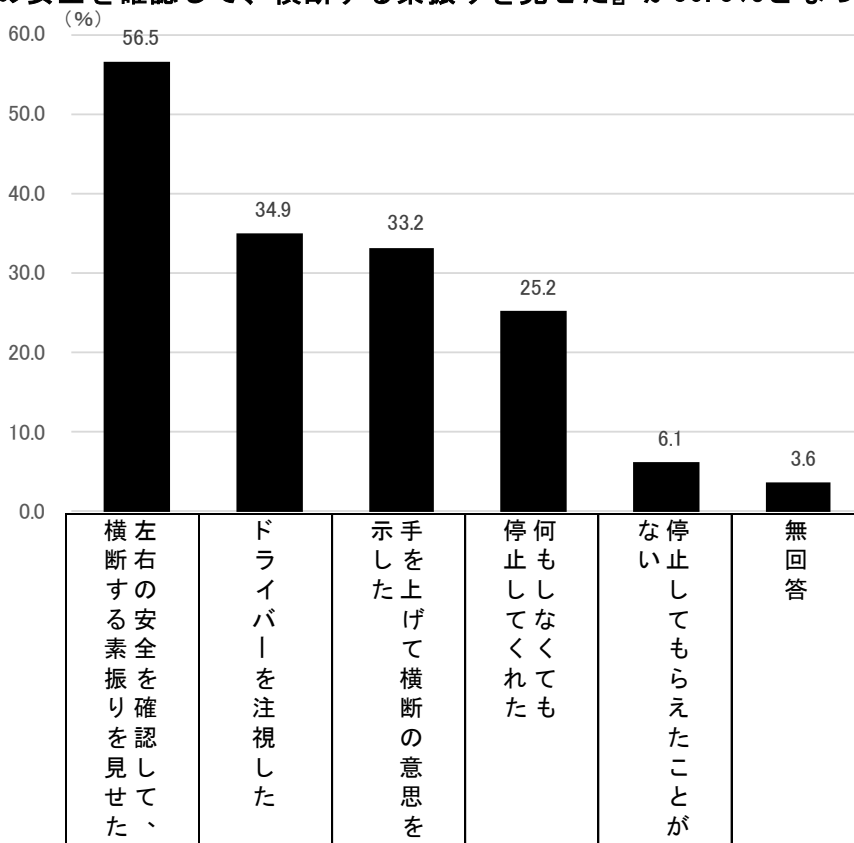
(2) 自転車等運転中、横断歩道に歩行者がいて、どのような場合に停止しているかについて（複数回答：すべて）※対象者：上記（1）を回答した者

・『横断歩道の手前で横断する機会を伺っている人がいる場合』が72.6%、次いで、『横断歩道の手前で立っている人がいる場合』が69.8%となっている。



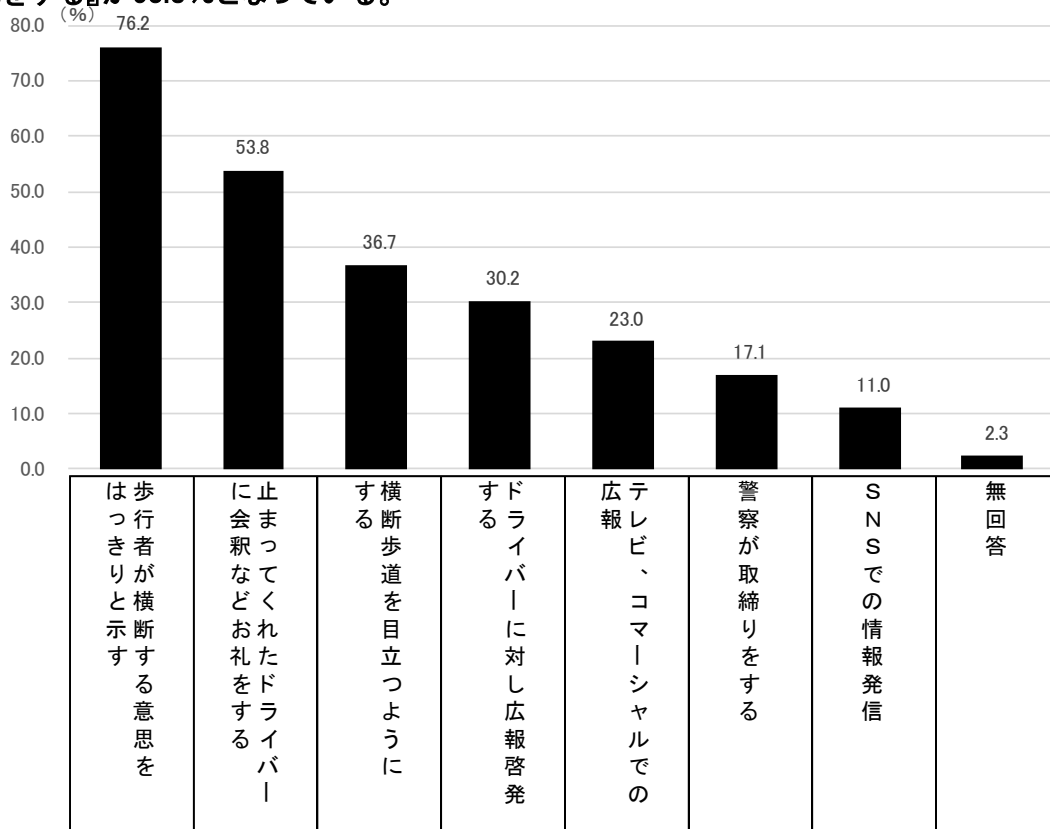
(3) 横断歩道を横断した際にどのような行動を取ると車に停止してもらえたかについて（複数回答：すべて）

・『左右の安全を確認して、横断する素振りを見せた』が56.5%となっている。



(4) 横断歩道で車が停止してくれるための効果的な取組みについて (複数回答: すべて)

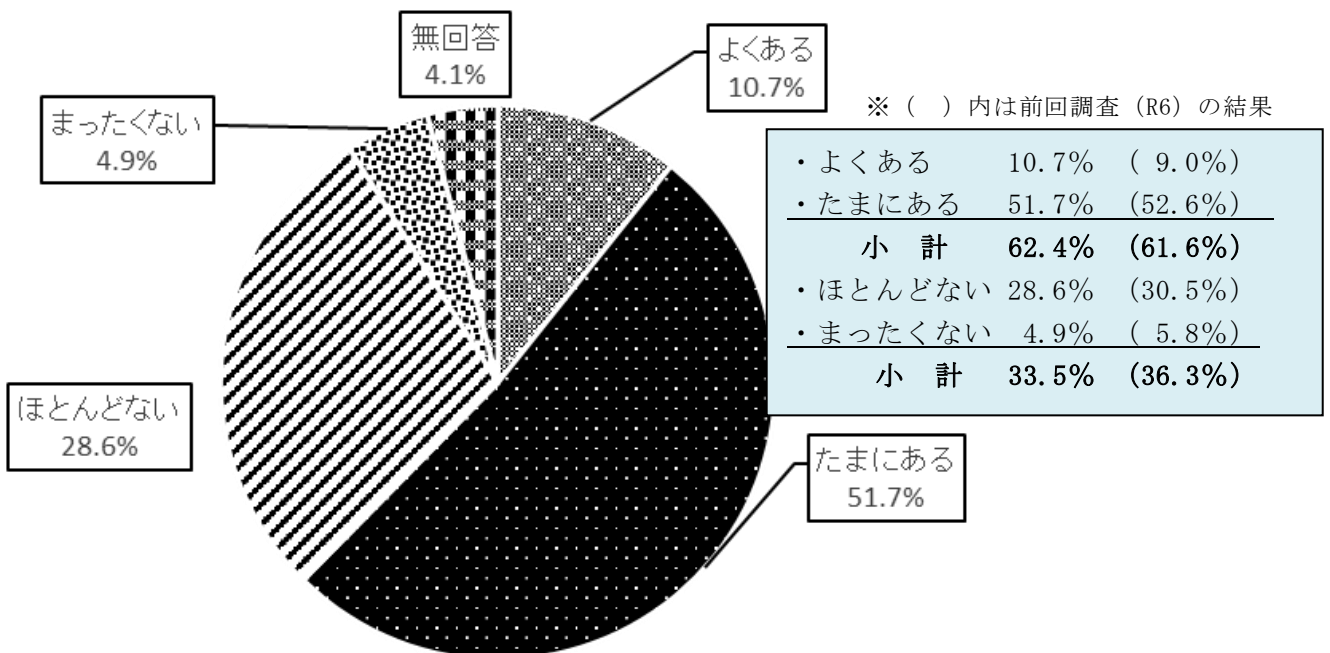
・『歩行者が横断する意思をはっきりと示す』が76.2%、次いで、『止まってくれたドライバーに会釈などお礼をする』が53.8%となっている。



12 犯罪の予防について

(1) 自分や家族が犯罪の被害に遭うのではないかと不安に感じることがあるかについて (単一回答)

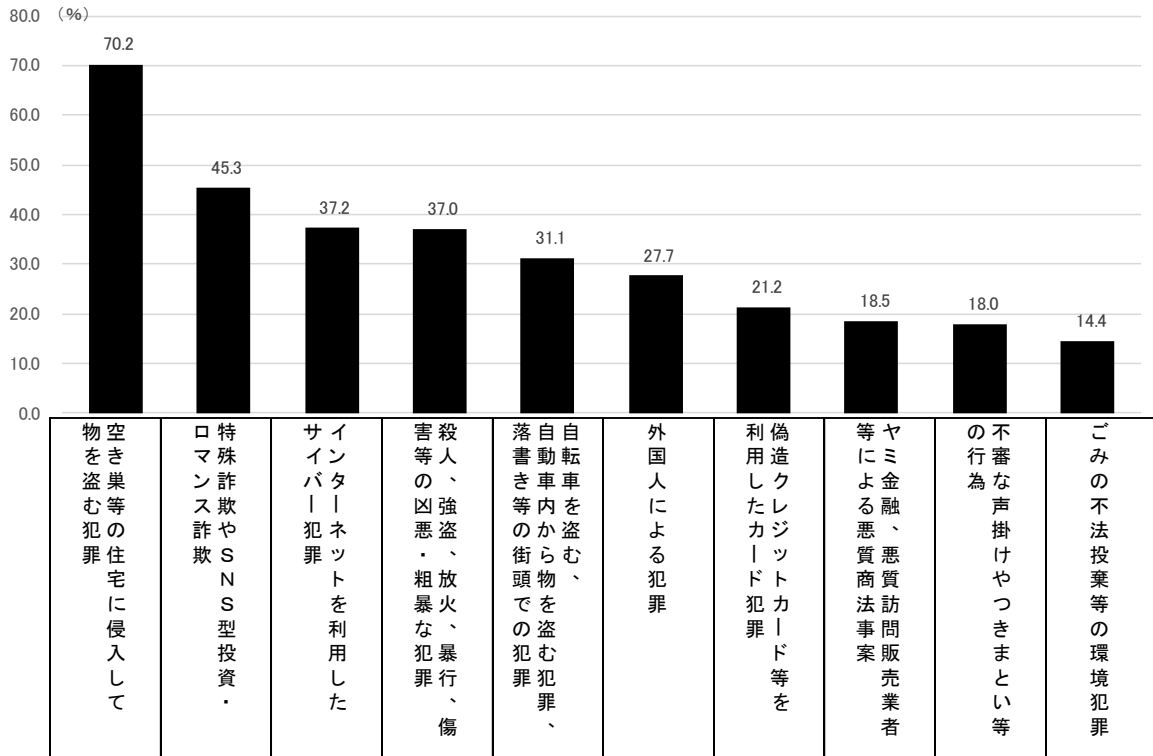
・『よくある』と『たまにある』を合わせて、62.4%となっている。(R6: 61.6%)



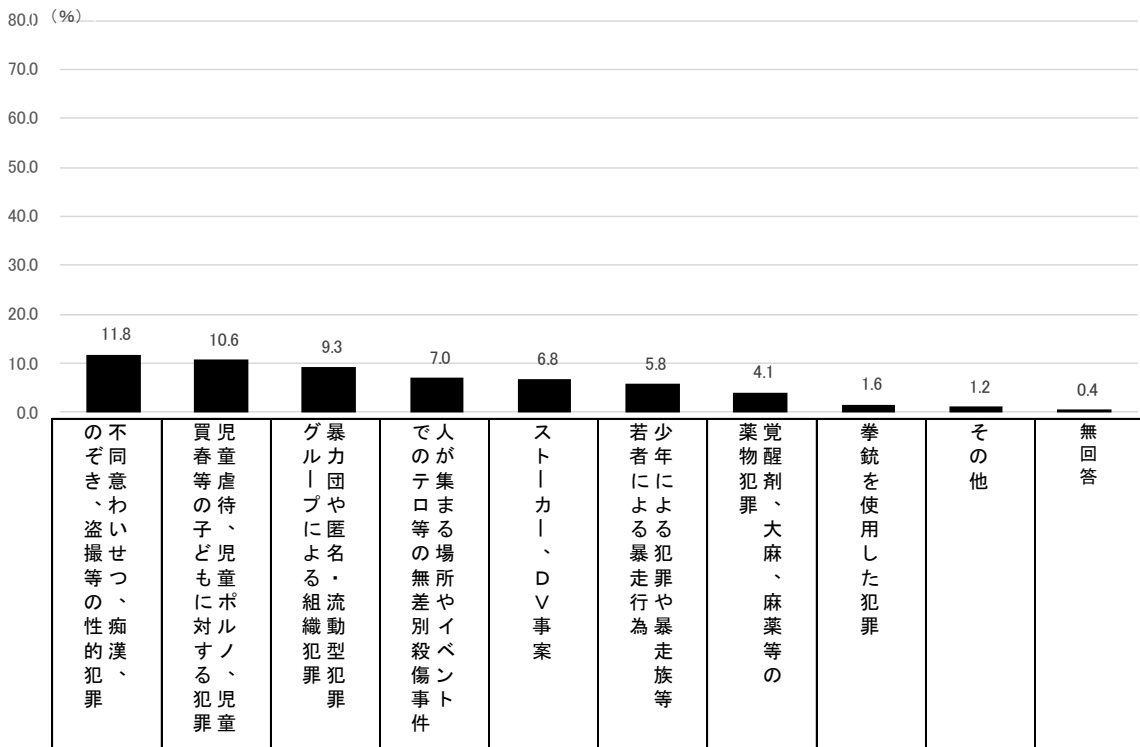
(2) どのような犯罪に不安を感じるかについて（複数回答：5つ以内）

※対象者：上記(1)で「よくある」「たまにある」と回答した者

・『空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪』『特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺』『インターネットを利用したサイバー犯罪』が上位となっている。



⇒下段へ続く



1 空き巣等の住宅に侵入して物を盗む犯罪	70.2% (①57.3%)
2 特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺	45.3%
3 インターネットを利用したサイバー犯罪	37.2% (③46.1%)
4 殺人、強盗、放火、暴行、傷害等の凶悪・粗暴な犯罪	37.0%
5 自転車を盗む、自動車内から物を盗む、落書き等の街頭での犯罪	31.1% (⑥23.4%)

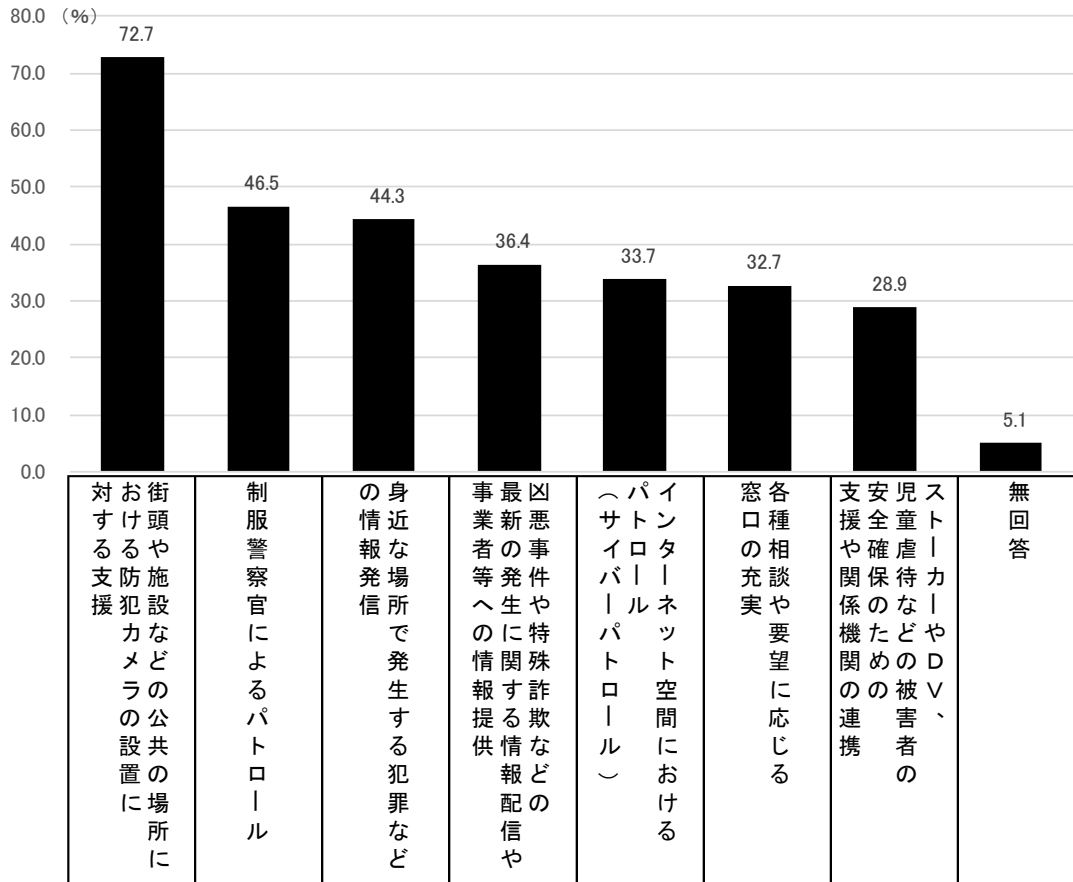
※ () 内は前回調査 (R6) の結果 (○内数値は順位)

前回より選択肢が変更となったため前回同様の選択肢のみ () に記載

(3) ④ 犯罪の取締り以外に犯罪を予防するために力を入れるべき活動について

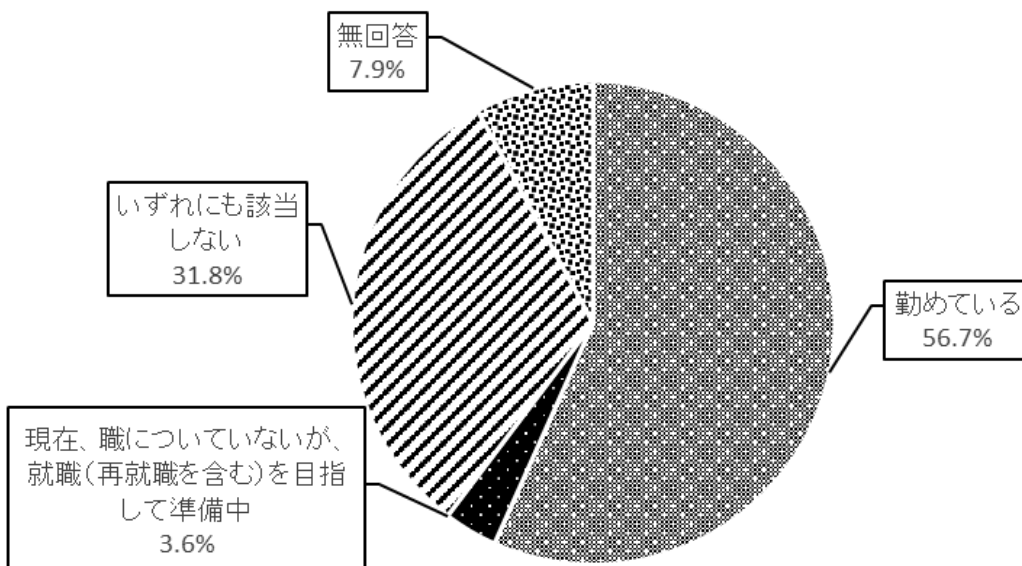
(複数回答：すべて)

・『街頭や施設などの公共の場所における防犯カメラの設置に対する支援』が72.7%と最も多くなっている。



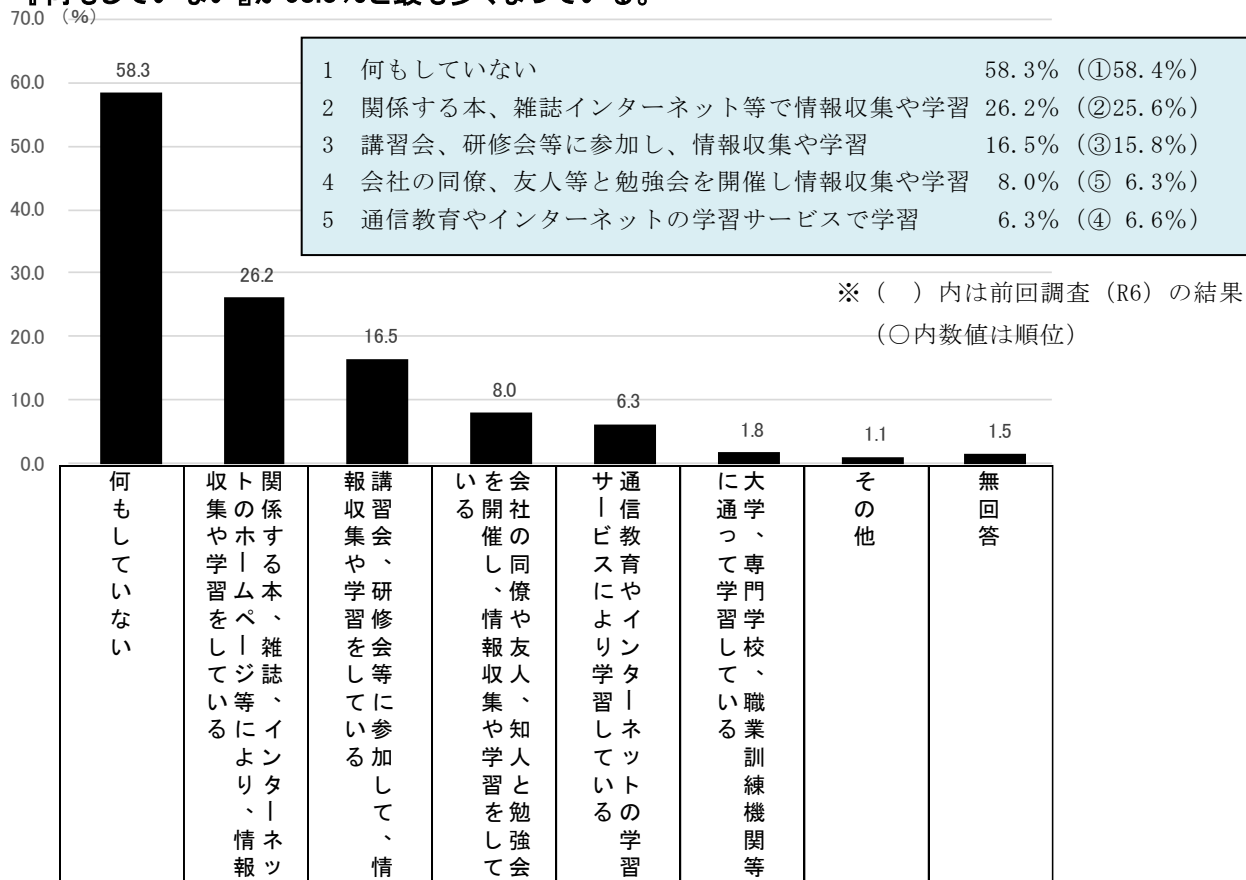
13 リカレント教育への取組みについて

(1) 現在、勤めているかについて (単一回答)



(2) リカレント教育（社会人の学び直し）として、現在何か取り組んでいるかについて（複数回答：すべて）※対象者：上記（1）で「勤めている」「現在、職についていないが、就職（再就職を含む）を目指して準備中」と回答した者

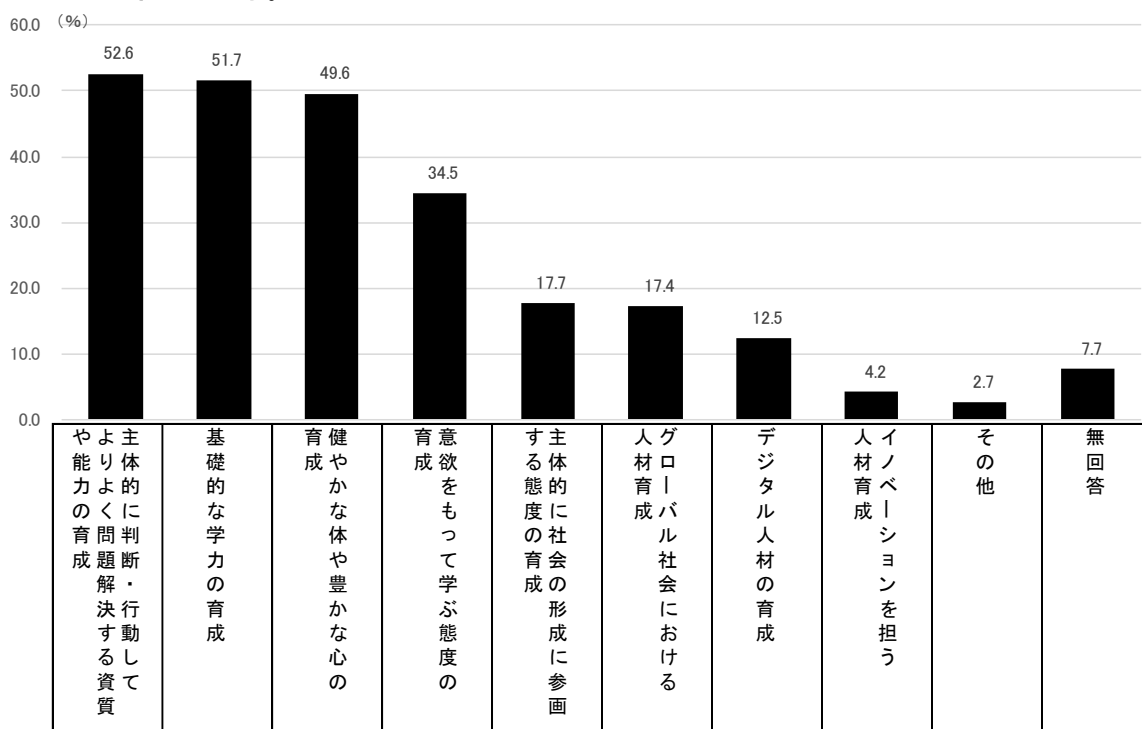
・『何もしていない』が58.3%と最も多くなっている。



14 教育の充実について

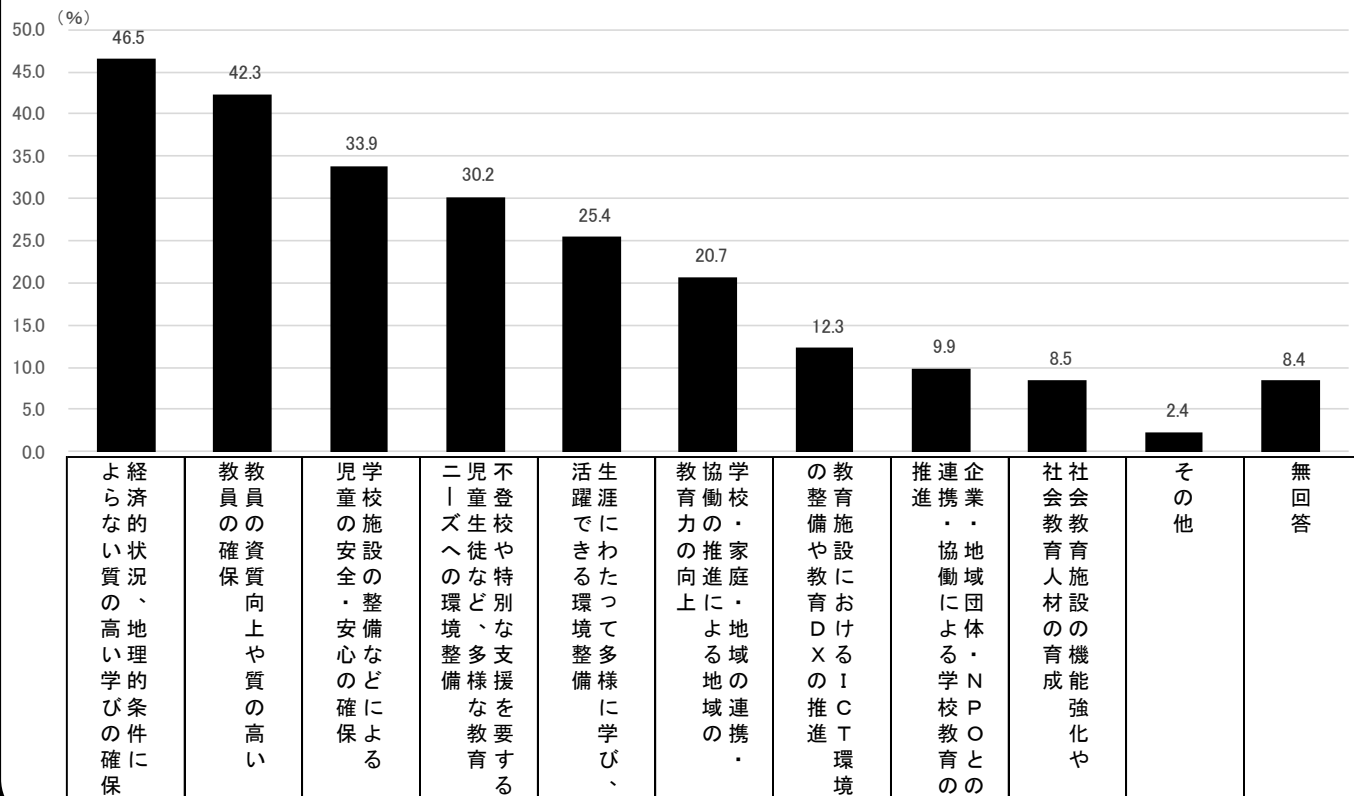
(1) 学校の教育内容で充実、強化すべきことについて（複数回答：3つ以内）

・『主体的に判断・行動してよりよく問題解決する資質や能力の育成』が52.6%、次いで『基礎的な学力の育成』が51.7%となっている。



(2) 教育の改善や充実のために重視すべきことについて (複数回答: 3つ以内)

・『経済的状況、地理的条件によらない質の高い学びの確保』が46.5%、次いで『教員の資質向上や質の高い教員の確保』が42.3%となっている。

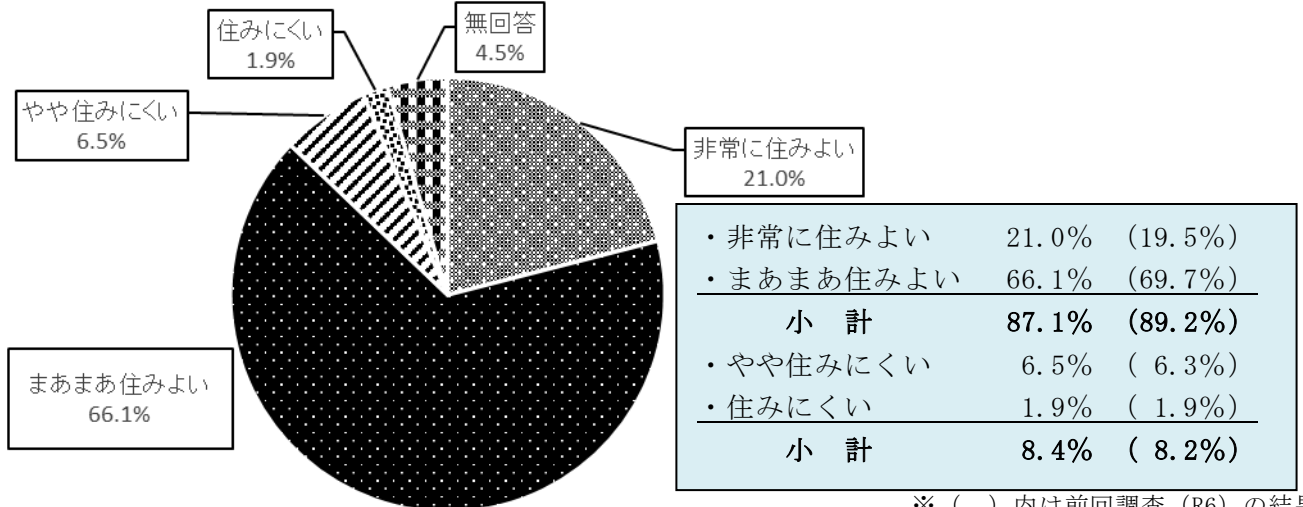


15 意識調査について

<幸福度に関する設問>

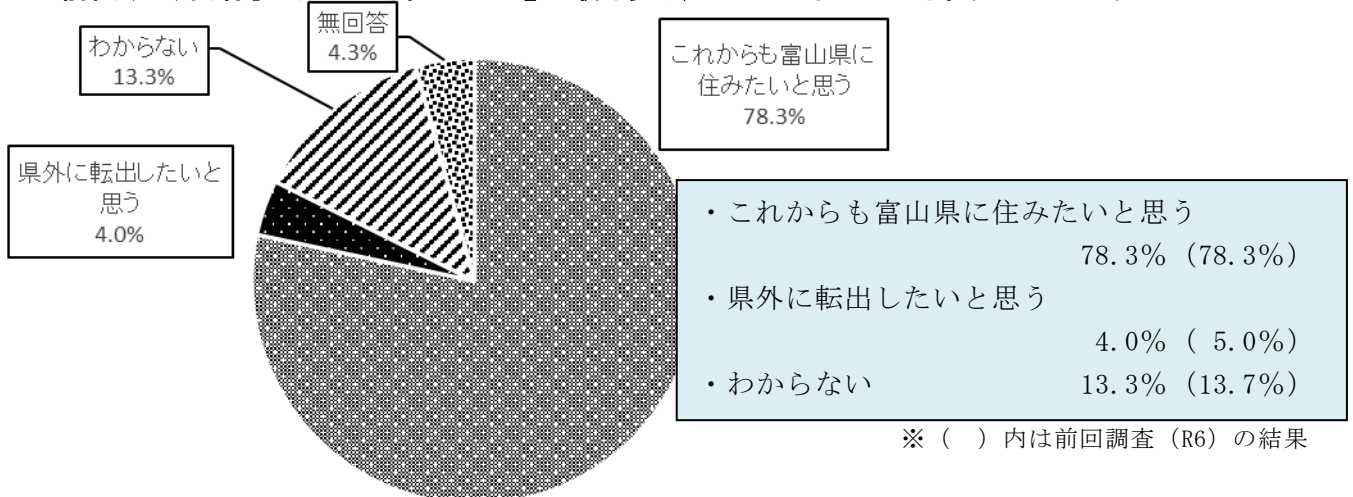
(1) 富山県の住みよさについて (単一回答)

・『非常に住みよい』と『まあまあ住みよい』を合わせて、87.1%となっている。(R6:89.2%)



(2) 「これからも富山県に住みたいか」について (単一回答) ※ () 内は前回調査 (R6) の結果

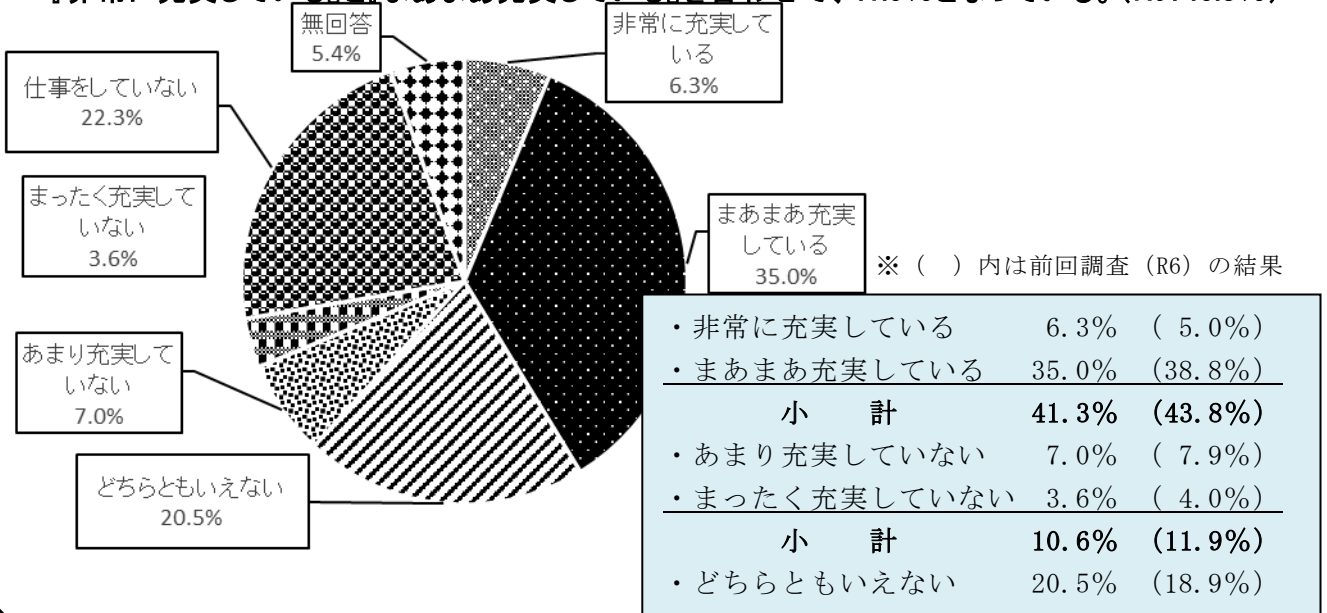
・前回 (R6) 同様『これからも住みたい』が最も多く、78.3%となっている。(R6:78.3%)



※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(3) 仕事の充実感 (満足感) について (単一回答)

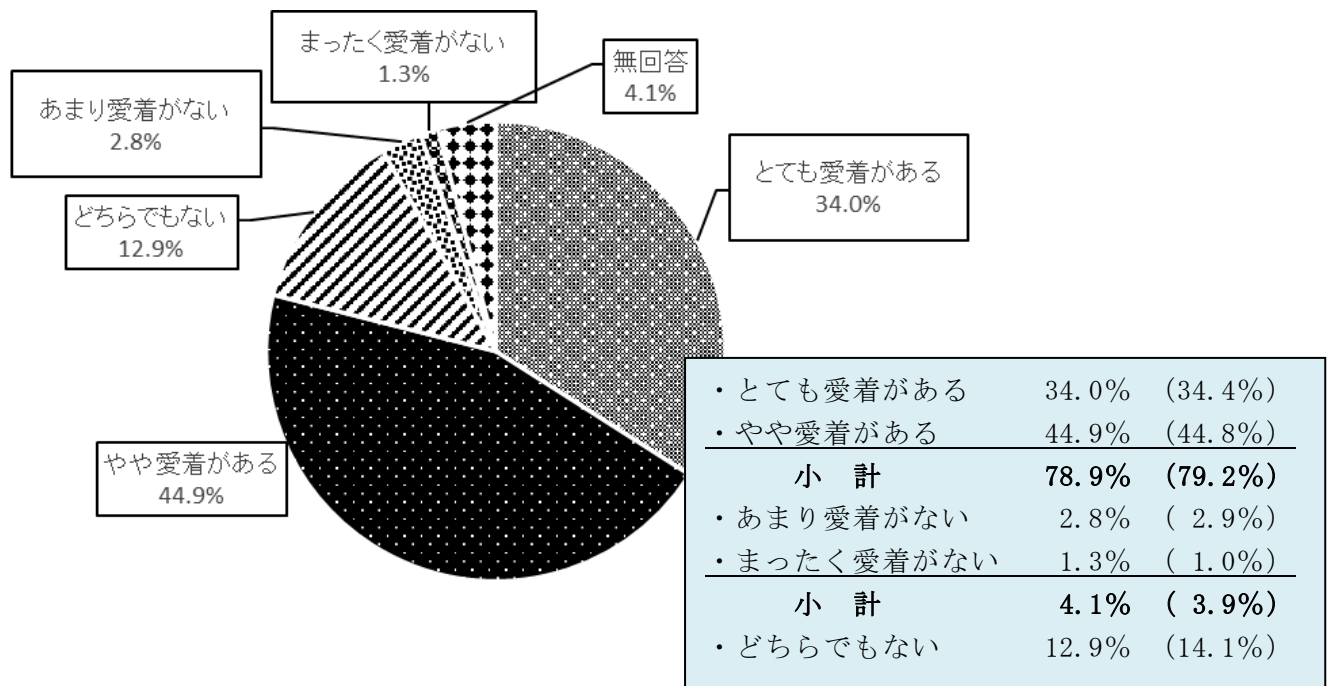
・『非常に充実している』と『まあまあ充実している』を合わせて、41.3%となっている。(R6:43.8%)



※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(4) 富山県に対する愛着度について (単一回答)

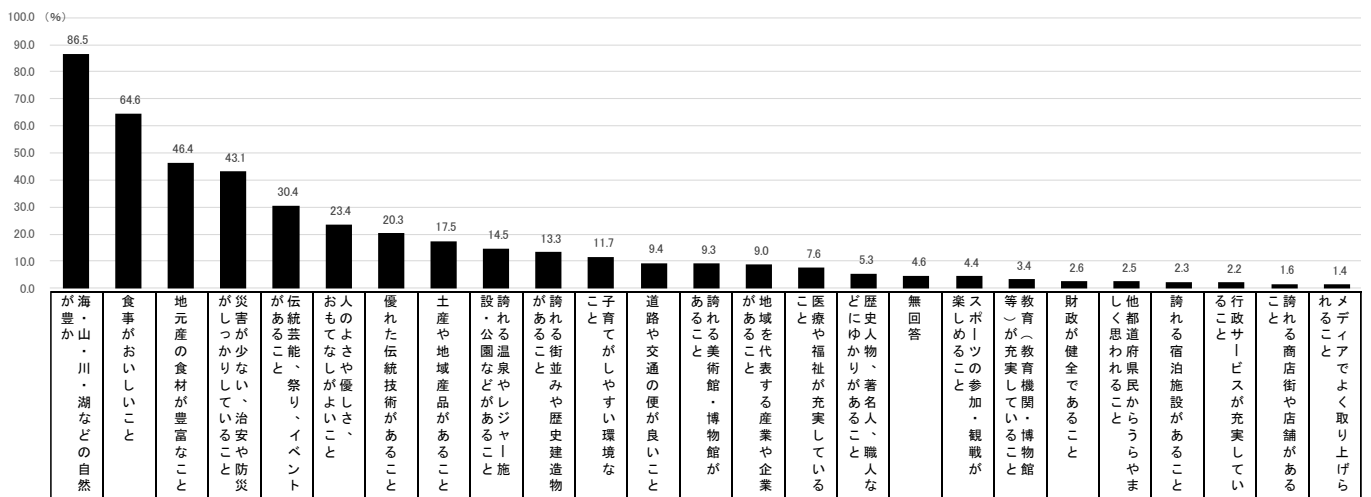
・『とても愛着がある』と『やや愛着がある』を合わせて78.9%となっている。(R6:79.2%)



※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(5) 富山県のどのような点を誇りに思うかについて (複数回答: すべて)

・前回(R6)同様、『海・山・川・湖などの自然が豊かなこと』『食事がおいしいこと』が上位となっている。



1 海・山・川・湖などの自然が豊かなこと	86.5%	(①87.1%)
2 食事がおいしいこと	64.6%	(②67.6%)
3 地元産の食材が豊富なこと	46.4%	(③46.8%)
4 災害が少ない、治安や防災がしっかりとしていること	43.1%	(④45.2%)
5 伝統芸能、祭り、イベントがあること	30.4%	(⑤31.1%)

※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(○内数値は順位)

<県民参考指標（総合計画）に係る設問>

(6) 県内には、自然、歴史、文化、特産品など多くの魅力や地域資源がありますが、県外の知人、友人等に自信をもって紹介したり、奨めたりできるものがありますか。

たくさんある	21.1% (16.0%)
少しはある	67.5% (75.0%)
ない	6.7% (6.9%)

※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(7) あなたは、県内において、音楽や演劇、美術など芸術文化に親しむ機会が充足されていると思いますか。

十分に充足されている	2.7% (1.3%)
ある程度充足されている	35.8% (35.1%)
あまり充足されていない	35.3% (34.0%)
まったく充足されていない	7.3% (6.2%)
わからない	16.4% (21.5%)

※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(8) 最近の家庭は、しつけや望ましい生活習慣づくりなど、子どもの教育において、役割を果たしていると思いますか。

十分に果たしている	1.4% (1.6%)
ある程度果たしている	37.0% (38.1%)
あまり果たしていない	37.7% (36.2%)
まったく果たしていない	5.6% (5.7%)
わからない	16.0% (16.4%)

※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(9) あなたは、過去1年間に、生涯学習を行ったことがありますか。

ある	30.8% (28.8%)
ない	67.1% (68.7%)

※ () 内は前回調査 (R6) の結果

(10) あなたが住んでいる地域の活動に参加していますか。

積極的に参加している	11.7% (12.2%)
ときどき参加している	48.9% (46.8%)
参加していないが、今後は参加したい	15.6% (16.1%)
参加していないし、今後も参加したくない	21.7% (23.0%)

※ () 内は前回調査 (R6) の結果